



Neuroinformatics Base Platform System

XooNIps

XooNIps Version3.4

Neuroinformatics Base Platform System

平成 20 年 11 月 28 日

XooNips Version3.4: Neuroinformatics Base Platform System

平成 20 年 11 月 28 日

Copyright © 2008 Neuroinformatics Japn Center, RIKEN BSI.

目次

1. はじめに	1
1.1. XooNIps の開発経緯	1
1.2. 本マニュアルの内容	1
2. XooNIps の概要	2
2.1. CMS	2
2.2. XOOPS	2
2.3. XooNIps	2
2.4. システム概要	3
2.5. XooNIps の基本画面	3
2.6. 用語解説	4
2.7. XooNIps の利用例	5
3. XooNIps のインストール	7
3.1. Web サイトの計画と設計	7
3.2. サーバの構成要素	9
3.3. OS のインストール	9
3.4. CentOS5 のカスタマイズ	19
3.5. XOOPS のインストール	24
3.6. XooNIps のインストール	29
4. サイトポリシーとメンテナンス	42
4.1. サイトポリシー	42
4.2. メンテナンス	51
5. XooNIps の操作	60
5.1. ゲスト	60
5.2. ユーザー	65
5.3. グループ管理者	84
5.4. モデレーター	89
5.5. システム管理者	96
6. 著作権表示	103

第 1 章 はじめに

1.1. XooNIps の開発経緯

XooNIps はニューロインフォマティクスのツールとして脳・神経系に関する実験データ、数理モデル、シミュレーションプログラム、計測データなどの多様な研究資源を蓄積・整理・共有し、広く公開することで脳機能の理解・解明を一層進める必要があるとの観点から開発されています。

ニューロインフォマティクス (NI) は、脳神経科学と情報科学・技術を融合することで、脳の構造と機能の解明に挑戦する新しい研究分野です。2005 年 11 月に国際機構:INCF (International Neuroinformatics Coordinating Facility) が発足し、世界的規模で活発な研究協力が始まっています。理化学研究所脳科学総合研究センターニューロインフォマティクス技術開発チームでは、NI に関わる様々な先端技術開発に取り組んでおり、XooNIps はその成果の一つです。

XooNIps の特徴として以下の点があげられます。

- ・カスタマイズ性・拡張性の高さ。XooNIps は CMS(Content Management System)である XOOPS をベースとしているので、サイトのデザインを変更したり、XOOPS で利用可能な様々なモジュールと組み合わせ、データベースサイトとしての機能の拡張が容易に行えます。すなわち、システムに詳しくない方々でも情報を共有するデータベースサイトを立ち上げる事が可能です。
- ・査読システム。サイト上にデータを公開する際、モデレータによる査読を必要とするシステムになっています。これによりサイトで公開されるデータの品質管理を容易に行えるようにしています。
- ・メタデータの流通機能。XooNIps はメタデータ流通の標準プロトコルとして OAI-PMH (Open Archive Initiative-Protocol for Metadata Harvesting) を実装しています。これにより、XooNIps で構築された他のデータベースのメタデータを収集したり、XooNIps 以外の OAI-PMH を備えた他のデータベースとメタデータの交換を介して、検索を行う事などが可能です。

2007 年 4 月より XooNIps の機能拡張等の保守・運用サポートを理化学研究所脳科学総合研究センター神経情報基盤センター (Neuroinformatics Japan Center : NIJC)が担当しています。NIJC は INCF 日本ノードとして我が国の NI 研究を確立・展開すべく XooNIps を利用した様々な脳神経科学分野の NI データベース Web サイトを立ち上げ、運用しています。また、XooNIps は NI 以外にも、研究機関や大学でのデータベースや機関リポジトリ、ラボ内のグループウェアなど、多様な応用が進められています。

1.2. 本マニュアルの内容

XooNIps は XOOPS のモジュールとして公開されているため、システム管理者やモデレータを担当される場合は XOOPS の知識が必須となります。

XOOPS の詳細については専門書などを参考にしてください。

Linux,UNIX の知識に精通している方	3 章	3 章の最初からお読みください。XooNIps のインストール方法と初期設定について説明しています。
それ以外の方	2 章	2 章では XooNIps の概要から紹介していますので、理解に役立ちます。
XooNIps のモデレータを担当する方	4 章	サイトポリシーとメンテナンスの項目からお読みください。モデレータとして日常的に行う操作の説明をしています。
ゲストで XooNIps を利用する方	5 章	ゲストの項目をお読みください。ゲストとして出来る操作の説明をしています。
ユーザー登録をして XooNIps を利用する方	5 章	ユーザーの項目をお読みください。ユーザーとして出来る操作の説明をしています。
グループ管理者を担当する方	5 章	グループ管理者の項目をお読みください。グループ管理者として出来る操作の説明をしています。

第 2 章 XooNIps の概要

2.1. CMS

CMS とは Content Management System の略称で様々なデジタルコンテンツを登録・管理・更新・配信する仕組みを持ったソフトウェアです。

CMS は Web サイトの構造をロジック部分、コンテンツ部分、デザイン部分の三層構造に分割しています。

Web ページを HTML のみで作成・更新する従来の一層構造では HTML ファイルの作成者はサイトに関する以下のような様々な知識が必要です。

- Web サイトに掲載したい内容(コンテンツ)の専門的な知識
- HTML コード作成に関する知識
- Web サイトのデザイン

HTML のみで Web サイトを作成し、これら作業を分業した場合でもちょっとした修正や更新にもデザイナーや HTML コーダーが関与しなければならず、効率や管理の面で非効率です。

CMS はコンテンツとデザイン部分のデータを別々にデータベースに登録・保存し、独立したロジック部分がコンテンツとデザインのデータから自動的に Web ページを生成します。

CMS ではコンテンツ作成者はロジックを意識する必要が無く、またデザイナーも Web ページのデザインに集中できるのでサイト全体の品質を高め、管理や作業の効率も向上させることが出来ます。

2.2. XOOPS

XOOPS は Web サイト上に CMS を手軽に実装できるソフトウェアです。

XOOPS はオープンソースライセンスのソフトウェアとして開発されており誰でも無料で利用できます。

また XOOPS の基盤となるソフトウェアもフリーソフトを利用できるため、XOOPS を利用する際、ソフトウェアに関してお金は一切かかりません。

XOOPS のインストールには PHP/MySQL を使えるサーバ環境が整っていれば簡単です。

XOOPS は eXtensible Object Oriented Portal System の略称で拡張可能なオブジェクト指向ポータルシステムと訳されます。

- 高い拡張性：モジュールと呼ばれるソフトウェア単位を追加することで XooNIps の他、掲示板システムやカレンダー等様々な機能を追加することが出来ます。
- オブジェクト指向:XOOPS は基盤としている PHP のオブジェクト指向部分を多用しています。
- ポータルシステム：CMS と同義語です。

2.3. XooNIps

XooNIps は脳・神経系に関する実験データ、数理モデル、シミュレーションプログラム、計測データなどの多様な研究資源を蓄積・整理・共有し、広く公開することで脳機能の理解・解明を一層進める事が必要であるとの観点から開発されています。XOOPS のモジュールとして追加することで利用が可能です。

- インデックスツリーにデータを関連付けて保存することでユーザに判りやすい形で研究資源を公開・共有できます。
- データベースに登録するデータの種別はアイテムタイプモジュールで簡単に増やすことができます。
- OAI-PMH プロトコルに対応した他のデータベースの情報は XooNIps 上で検索することが出来ます。
- 登録データの公開レベルを登録者個人のみ、グループ内のみ、一般公開の 3 種類に別けて設定することが出来ます。

- 登録データの品質管理を行う仕組みとして、登録データを一般公開またはグループ内公開にする際にはサイト管理者、グループ管理者による査読が必要なシステムを採用しています。

2.4. システム概要

データベースを円滑に運用するため、利用できる機能をユーザー権限によって分けられており、使い分けることによって『アイテムの公開』や『グループ内におけるアイテム共有』などの一連のワークフローを実現しています。

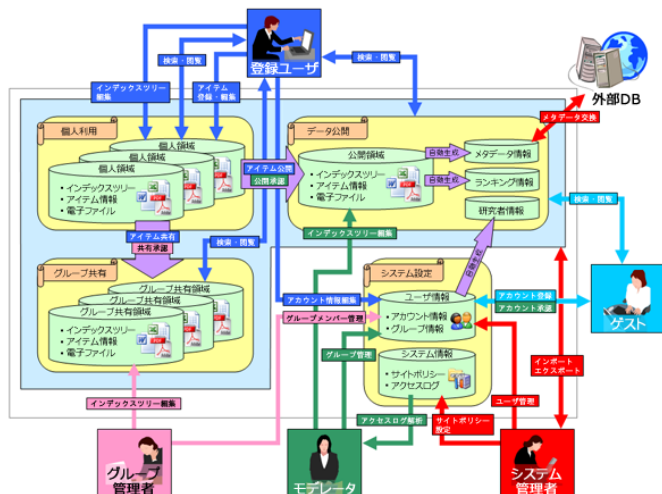


図 2.1. システム概要図

2.5. XooNips の基本画面

インストール直後の基本デザインは下記の様なイメージになります。

デザインはサイトによって異なる場合があります。



図 2.2. XooNips の基本画面


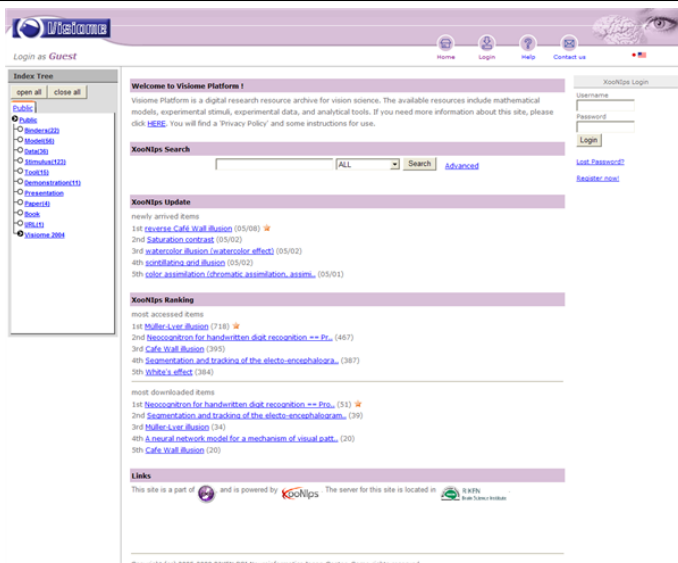
2.6. 用語解説

インデックスツリー	登録データを管理分類するために用意されている表示方法です。
アイテム	登録されるデータの事です。
アイテムタイプ	登録されるデータの種類の事です。Data, Model, Tool 等データの種類の合わせて複数の種類があります。
グループ	登録ユーザーの集まりです。
インポート	公開されている XooNIps から、新しい XooNIps へ移行する際のデータ移動手段です。
エクスポート	XooNIps の公開されているデータを、新しい XooNIps へ移行させる為にデータを変換する機能です。
メタデータ	検索システムの対象となるデータを要約したデータの事です。XooNIps ではメタデータを簡単に作成し、データ登録の際に利用することができます。
OAI-PMH	<p>メタデータを機械的に収集するプロトコルです。OAI-PMH ではデータを一括して取得することを、農作物の収穫になぞらえ、「刈り取る」(ハーベスティング)と表現します。</p> <p>OAI-PMH は、OAI-PMH によるデータ提供をサポートするサーバーから一括してメタデータを刈り取るために用いられます。刈り取る側のクライアントソフトウェアをハーベスタ、刈り取られる側のサーバーをリポジトリと呼びます。</p> <p>XooNIps は両方の機能を備えています。</p>
ゲスト(Guest/Anonymous Users)	<p>XooNIps にログインしていない状態のユーザーです。XooNIps では Anonymous Users グループに所属します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開領域に登録されたデータを検索・閲覧することが出来ます。
登録ユーザー(Registered Users)	<p>XooNIps はユーザー登録後、モデレーターの承認作業を経てから機能を利用できる状態になります。</p> <p>モデレーターに承認されて XooNIps を利用出来る人です。XOOPS の Registered Users グループに所属します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専用の個人領域を与えられて、そこに自由にデータを登録することが出来ます。 個人領域のインデックスツリーは自由に編集することが出来ます。 グループに所属するとグループ領域にデータを登録することが出来ます。 公開領域、グループ領域、個人領域に登録されたデータを検索・閲覧することが出来ます。
システム管理者(Webmasters)	<p>XOOPS Cube 全体の管理権限を持つユーザーです。XOOPS の Webmasters グループに所属します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Web サイトの運用ポリシーを決定して設定をします。 OAI-PMH で記述された外部データベースを選択してメタデータを取得する設定をします。 インポート・エクスポート機能を使ってデータベースの移行が行えます。
モデレーター(Moderator)	<p>XooNIps の設定などを行う管理者です。XOOPS の moderator グループに所属します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XooNIps モジュールの設定を行います。 ユーザのアカウント承認作業が出来ます。 公開領域のインデックスツリーの編集が行えます。 公開領域へデータを登録する際の承認作業が行えます。 グループの新規作成・削除を行うことが出来ます。 Web サイトのアクセスログを閲覧することが出来ます。

グループ管理者	<p>グループを管理する権限を持つユーザーです。グループの共有領域にデータを登録する際に査読を行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ内のユーザ管理(登録・削除)が出来ます。 グループ領域のインデックスツリーの編集が出来ます。 グループ領域に登録するデータの承認作業が行えます。
---------	--

2.7. XooNIPS の利用例

XooNIPS を利用しているニューロインフォマティクスサイトの例として一部を紹介します。

<p>http://www.neuroinf.jp/</p> <p>J-Node Portal</p> <p>INCF 日本ノードポータルサイト</p> <p>国内外のニューロインフォマティクス情報の配信や日本国内のニューロインフォマティクスサイトへのリンクを行っています。</p>	
<p>http://platform.visiome.neuroinf.jp/</p> <p>Visiome</p> <p>視覚神経科学プラットフォーム</p> <p>視覚神経科学に関するデータベースです。数理モデル・ツール・データ等を収集して登録することにより、データベースとしての有用性を増進することを目的としています。</p>	

J-Node Portal には、他にも XooNIPS を利用しているニューロインフォマティクスサイトとして以下のようなサイトが登録されています。

詳しい説明等は J-Node Portal に掲載されています。

http://platform.neuron-glia.neuroinf.jp/	細胞・局所神経回路網
http://platform.bmi.neuroinf.jp/	脳とロボット
http://platform.cerebellum.neuroinf.jp/	小脳

XooNIPS を利用しているニューロインフォマティクス分野以外の学術情報リポジトリ例

<p>http://koara.lib.keio.ac.jp/</p> <p>慶応大学</p> <p>学術情報アーカイブ KOARA</p>	
<p>http://sucra.saitama-u.ac.jp/</p> <p>埼玉大学</p> <p>学術情報発信システム SUCRA</p>	

その他に XooNIPS を利用しているニューロインフォマティクス分野以外の学術情報リポジトリとして以下のようなサイトがあります。

<p>http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/</p>	<p>旭川医科大学</p> <p>学術成果リポジトリ AMCoR</p>
<p>http://www2.library.pref.nara.jp/nlmc/</p>	<p>奈良県立図書館</p> <p>奈良県地域資料目録</p>
<p>http://repository.nabunken.go.jp/</p>	<p>奈良文化財研究所</p> <p>学術情報リポジトリ</p>

第 3 章 XooNIps のインストール

この章では実際にコンピュータに XooNIps の利用環境を作成します。

3.1. Web サイトの計画と設計

Web サイトを実際に構築する前に、その目的や利用者の特定などについて具体的に計画を立てておくことが重要です。

3.1.1. 構築するサイトの目的を具体的に表現する

まずはじめにどんなサイトを構築したいのか、具体的に表現してみます。

漠然とサイトを作っても誰も訪れないサイトになってしまうからです。

例として以下の表に内容を記述してみます。

このサイトで何をするのか？(What)	脳科学の情報を交換する、研究室に関する情報を発信する等
なぜ今サイトを構築・公開するのか？(Why)	脳科学の情報を互いに交換するニーズが高まっているから、研究室の情報をスタッフで共有したいから等
ユーザは具体的にどんな人か？(Who)	脳科学研究者や研究に興味のある外部の人、研究室のスタッフ等
対象地域はどこか？(Where)	国内全体・日本語圏。英語圏等
公開時期と終了時期は？(When)	年 月 日、終了時期は無期限とする等
サイトの構築方法は？(How)	CMS を利用しフリーソフトで構築する等

3.1.2. 機能を特定する

構築するサイトのイメージが鮮明になってきたら、次は具体的にどんな機能を盛り込むべきかを決定します。

XOOPS はモジュールという単位で数多くの機能を実現していますが、以下に例を挙げます。

XOOPS の公式サイトなどを参照し、これから構築するサイトにどのモジュールが必要か等を決定します。

- 掲示板・フォーラム・BBS
- ニュース記事の投稿
- カレンダー
- 問い合わせフォーム
- RSS による他サイト・コンテンツの掲示

3.1.3. ソフトウェア・ハードウェアを選定する

本マニュアルは XOOPS, XooNIps を利用することを前提として進めますが、他のソフトウェアを使う可能性がある場合にはここでサイトのイメージや機能に適したソフトウェアとハードウェアを選定します。

3.1.4. 設計書を作成する

サイトの運用方法にあわせて、サイトポリシーなど具体的に以下項目を決定しておきます。

サイト URL とサイト名

- URL は XOOPS インストール時に必要なので決定しておきます。

使用モジュールの特定

- XooNIps 意外に使用する具体的なモジュールとそのバージョンを決めます。

ユーザアカウント有効化の方法

新規にユーザを登録する際、アカウント有効化の方法を以下から選択します。

- ユーザ宛メールでの有効化
- 自動で有効化
- サイト管理者(Administrator)による有効化

登録情報の必須項目の決定

ユーザ登録の際、入力必須とする項目を以下から選択します。

- 本名
- 会社名
- 所属
- 住所
- 郵便番号
- 電話番号
- FAX 番号

ユーザのディスク使用量初期値の決定

登録ユーザ 1 人あたりの最大登録データ数、最大登録 Index 数、ディスク使用量の初期値を決定します。

- 最大登録データ数 (初期値 500)
- 最大登録 Index 数(初期値 200)
- ディスク使用量(初期値 500MB)

グループのディスク使用量初期値の決定

1 グループあたりの最大登録データ数、最大 Index 数、ディスク使用量を決定します。

- 最大登録データ数(初期値 1000)
- 最大登録 Index 数(初期値 500)
- ディスク使用量(初期値 1000MB)

データ承認方法の決定

データを公開する際の承認方法を以下から選択します。

- モデレータによる承認
- 自動承認

公開領域へのアクセス制限

公開領域へのアクセス制限を以下から選択します。

- 登録ユーザのみアクセスを許可
- ゲストを含む全てのアクセスを許可

添付ファイルをダウンロードする時のファイル内容

添付ファイルをダウンロードさせる場合のファイル形式を以下より選択します。

- メタデータ情報ファイルを含めて ZIP 圧縮する
- 登録されたデータのみ ZIP ファイルとする

業績アイテムの選択範囲

XooNips は公開領域にデータを公開することをユーザの業績として扱います。

業績として選択可能な範囲を以下から選択します。

- [はい]公開領域の全データから選択可能になります。
- [いいえ]ユーザが登録したデータからのみ選択可能になります。

エクスポートの設定

エクスポートの許可設定を以下から選択します。

モデレータはこの設定に関わらずエクスポートが可能です。

- [はい]ユーザ自身が登録したデータのエクスポートを可能にします。
- [いいえ]ユーザによるエクスポートは出来ません。

添付ファイルのエクスポート設定

添付ファイルのエクスポート許可設定を以下から選択します。

- [はい]ユーザ自身が添付ファイルのエクスポート可能になります。
- [いいえ]ユーザによる添付ファイルのエクスポートは出来ません。

インポートの設定

データインポートの設定を以下から選択します。

モデレータはこの設定に関わらずインポートが可能です。

- [はい]ユーザ自身が個人領域に対してデータをインポート可能になります。
- [いいえ]ユーザによるインポートは出来ません。

モデレータ権限の設定

モデレータによる全ユーザのデータ編集許可設定を以下から選択します。

- [はい]モデレータによる全ユーザのデータ編集が可能になります。
- [いいえ]モデレータによる全ユーザのデータ編集は出来ません。

3.2. サーバの構成要素

XooNips を動作させるために必要なソフトウェアは以下の表になります。

OS	特に指定無し
Web サーバ	Apache 2.0 以上
データベース	MySQL 4.1 以上(要 InnoDB 対応)
PHP	PHP 5.1 以上
XOOPS	XOOPS 2.0.16a-JP

3.3. OS のインストール

最初に CentOS5 をコンピュータにインストールします。

3.3.1. CentOS5 の入手

公式サイト [<http://centos.org/>]から CentOS5 の ISO イメージファイルを取得(執筆時の最新版は 5.1)してインストール CD、または DVD を作成します。

この章ではインストール DVD での説明をします。

3.3.2. インストールの手順

コンピュータに DVD を挿入しインストールを開始します。



画面下に boot: と表示されたら、Enter キーを押して次に進みます。

3.3.2.1. メディアテスト

メディアのテストを行うか否かを選択します。



ここではテストしないので Tab キーを押して Skip にカーソルを移動し、Enter キーを押して次に進みます。

3.3.2.2. グラフィカルインストール

X Window System が起動しこれ以降はキーボード、マウスを利用したグラフィカルな画面でインストールが可能です。

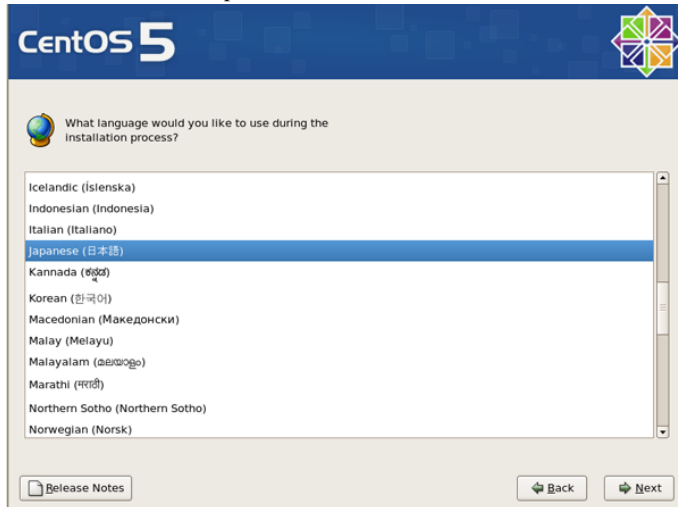


画面が表示されたら [Next] をクリックします。

3.3.2.3. 言語の選択

インストールに使用する言語を選択します。

日本語の場合は Japanese を選択します。



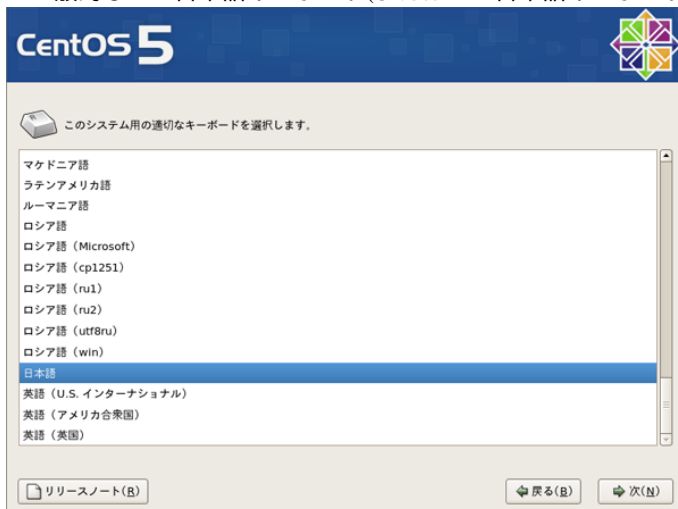
選択したら[Next]をクリックします。

3.3.2.4. キーボードの設定

キーボードの種類を設定します。

コンピュータに接続しているキーボードの種類を選択します。

一般的な 106 日本語キーボード(または 109 日本語キーボード)の場合には日本語を選択します。



3.3.2.5. ハードディスクの初期化

ハードディスクを初期化するか否かの警告メッセージが表示されます。

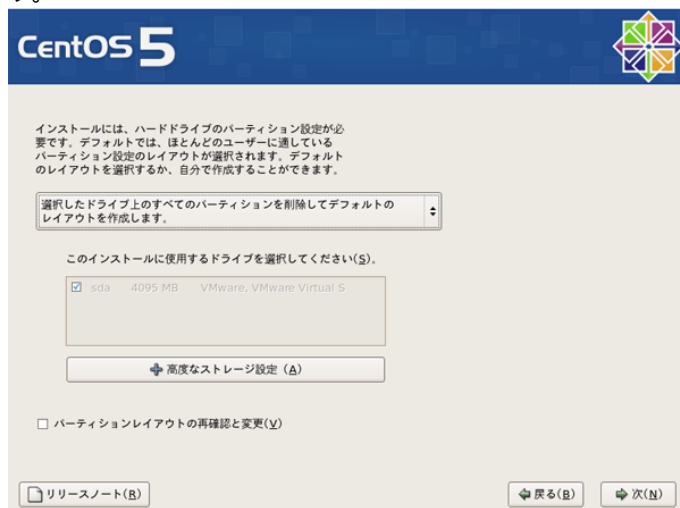


[はい]を選択してハードディスクを初期化します。

3.3.2.6. パーティションの設定

Linux をインストールするパーティションを選択します。

[選択したドライブ上のすべてのパーティションを削除してデフォルトのレイアウトを作成します]を選択します。



[次]をクリックすると警告メッセージが表示されます。



[はい]をクリックしてパーティションを削除します。

3.3.2.7. ネットワークの設定

ネットワーク上にブロードバンドルータなどの DHCP サーバーがある場合にはそのまま[次]をクリックします。



The screenshot shows the 'Network Configuration' window in CentOS 5. The 'Network Devices' section has a table with columns: 'Start on boot', 'Device', 'IPv4/Netmask', and 'IPv6/Prefix'. The first row shows 'eth0' with 'DHCP' and 'Auto'. Below this, the 'Host Name' section has 'DHCP経由で自動設定(A)' selected. The 'Other Settings' section has fields for 'Gateway (G)', '1st DNS (P)', and '2nd DNS (S)'. At the bottom are buttons for 'Release Note (R)', 'Back (B)', and 'Next (N)'.

コンピュータに固定 IP アドレスを割り振りたい場合やネットワーク上に DHCP サーバが存在しない場合は[編集]ボタンをクリックします。

Enable IPv4 support にチェックがあることを確認します。

Manual configuration にチェックを付けます。

IP Address にサーバの IP アドレスを入力します。Prefix (Netmask) にはネットマスクを入力します。

Enable IPv6 support のチェックを外します。

設定が出来たら[OK]をクリックします。



The screenshot shows the 'Edit Interface' dialog box. It displays details for 'Advanced Micro Devices [AMD] 79c970 [PCnet32 LANCE]' with hardware address '00:0C:29:C7:F7:96'. Under 'Enable IPv4 support', 'Dynamic IP configuration (DHCP)' is selected. Under 'Enable IPv6 support', 'Automatic neighbor discovery' is selected. The 'IP Address' field contains '192.168.2.161' and the 'Prefix (Netmask)' field contains '255.255.255.0'. At the bottom are buttons for 'Cancel (C)' and 'OK (O)'. The background shows the same 'Network Configuration' window as before.

ネットワークデバイスの画面に戻ったらホスト名を決めて入力します。

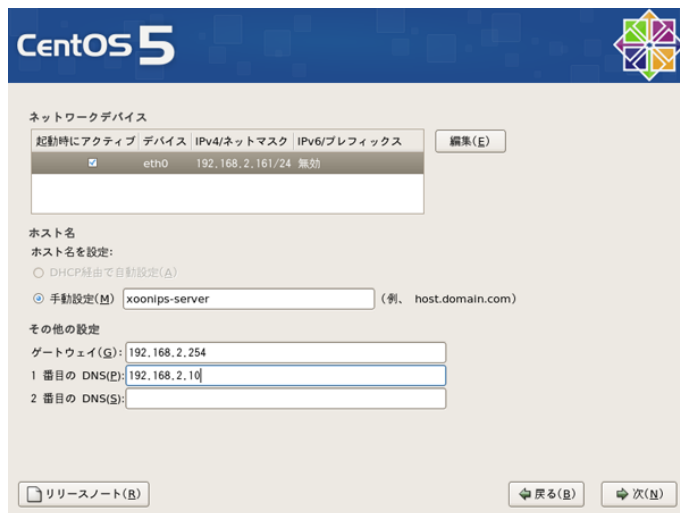
ダイアログボックスの例にあるように[ホスト名].[ドメイン名]のように入力します。

例えば hostname.domainname.org のように入力します。

ゲートウェイの欄にゲートウェイの IP アドレスを入力します。

1 番目の DNS の欄に DNS の IP アドレスを入力します。

設定が出来たら[次]をクリックします。



3.3.2.8. タイムゾーンの設定

タイムゾーンを設定します。地図上の東京の位置をクリック或いは画面下の項目から直接アジア/東京を選択します。

[システムクロックで UTC を使用]はチェックを外します。

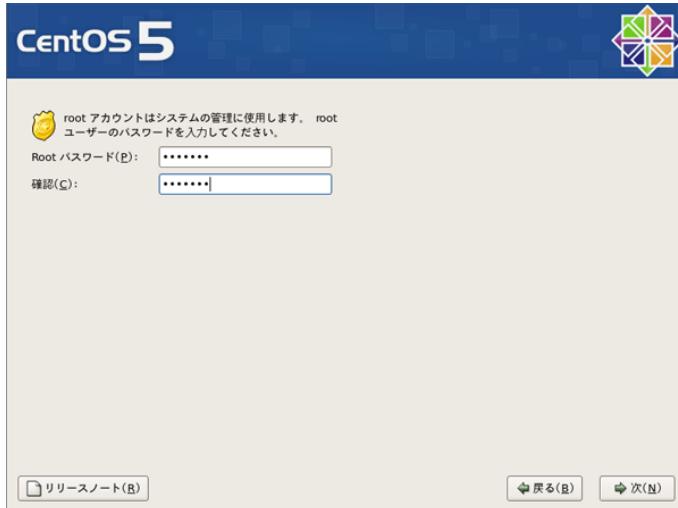


3.3.2.9. root パスワードの設定

root パスワードの設定をします(6 文字以上)

設定したパスワードは忘れないようにしてください。大文字小文字は区別されるので注意が必要です。

パスワードは確認の為 2 回入力します。



CentOS 5

root アカウントはシステムの管理に使用します。 root ユーザーのパスワードを入力してください。

Root パスワード(P):

確認(C):

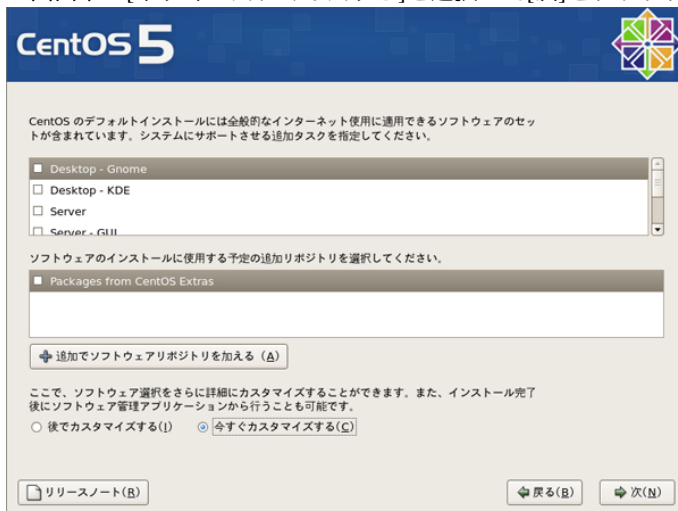
[リリースノート\(B\)](#) [戻る\(B\)](#) [次\(N\)](#)

パスワードを入力したら[次]をクリックします。

3.3.2.10. インストールパッケージの選択

全てのチェックを外します。

画面下の[今すぐカスタマイズする]を選択して[次]をクリックします。



CentOS 5

CentOS のデフォルトインストールには一般的なインターネット使用に適用できるソフトウェアのセットが含まれています。システムにサポートさせる追加タスクを指定してください。

☒ Desktop - Gnome
☐ Desktop - KDE
☐ Server
☐ Server - GII

ソフトウェアのインストールに使用する予定の追加リポジトリを選択してください。

☒ Packages from CentOS Extras

[追加でソフトウェアリポジトリを加える \(A\)](#)

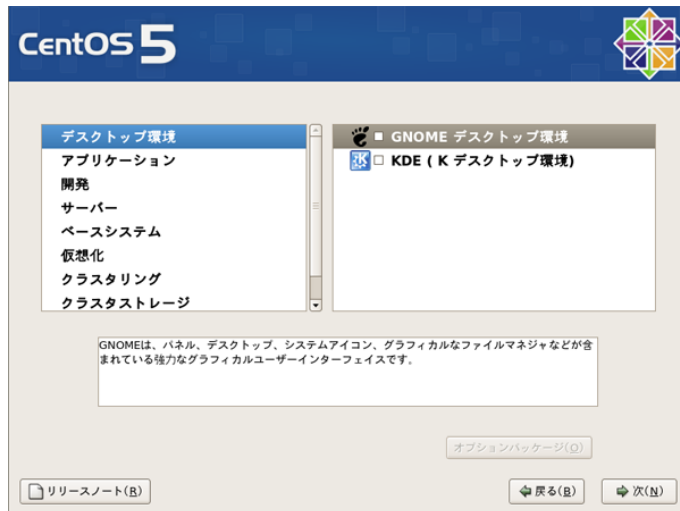
ここで、ソフトウェア選択をさらに詳細にカスタマイズすることができます。また、インストール完了後にソフトウェア管理アプリケーションから行うことも可能です。

☐ 後でカスタマイズする(I) ☒ 今すぐカスタマイズする(C)

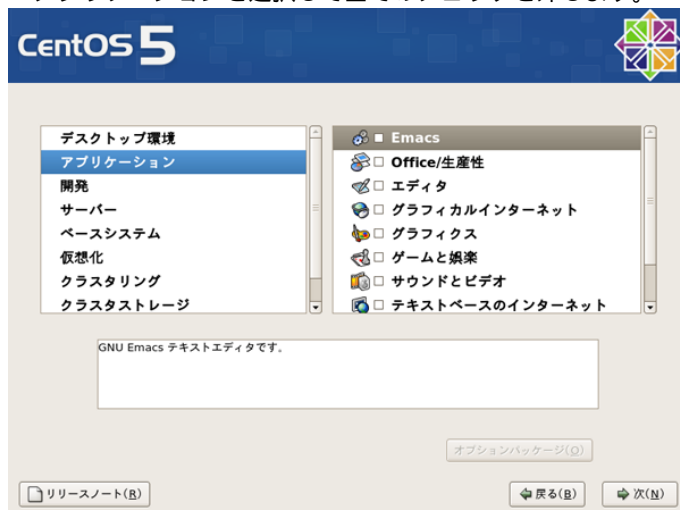
[リリースノート\(B\)](#) [戻る\(B\)](#) [次\(N\)](#)

3.3.2.11. インストールパッケージの選択 2

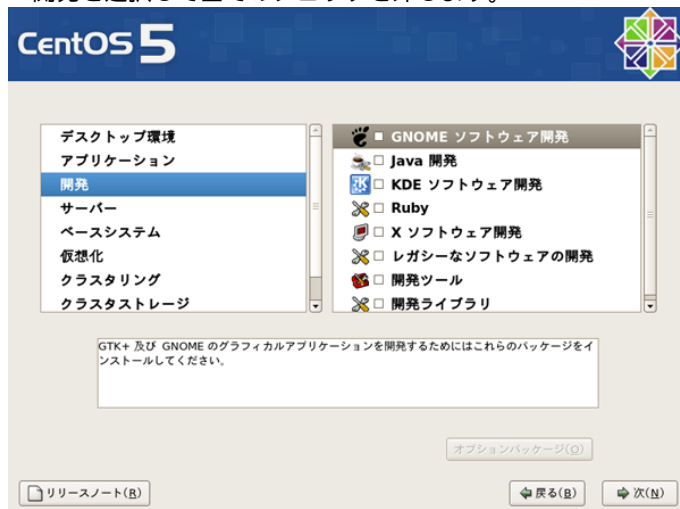
デスクトップ環境を選択して全てのチェックを外します。



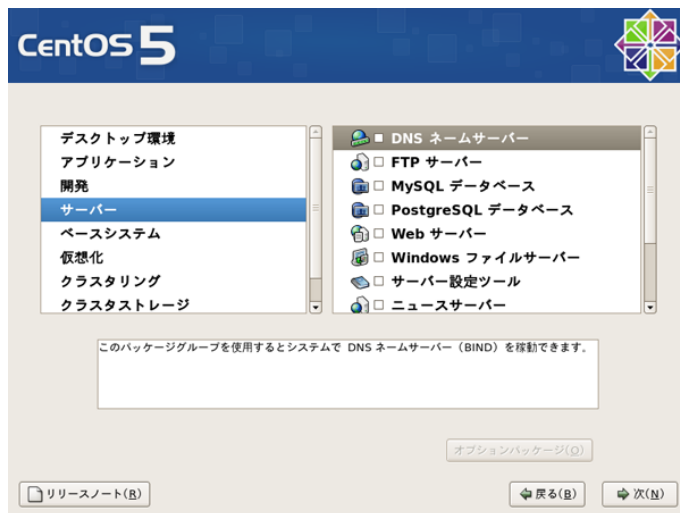
アプリケーションを選択して全てのチェックを外します。



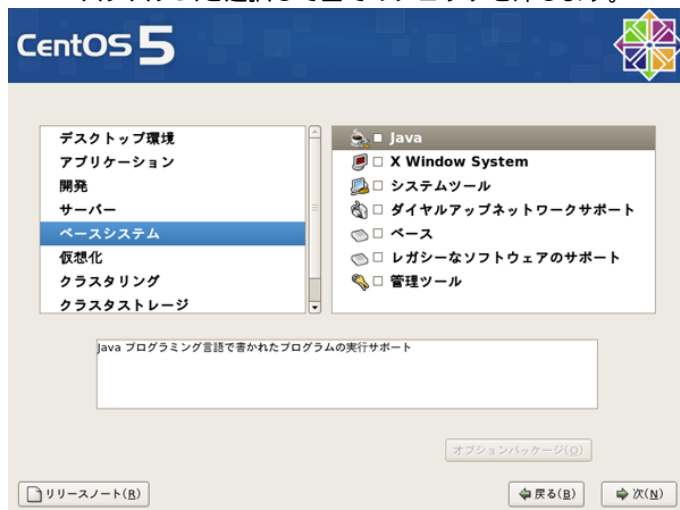
開発を選択して全てのチェックを外します。



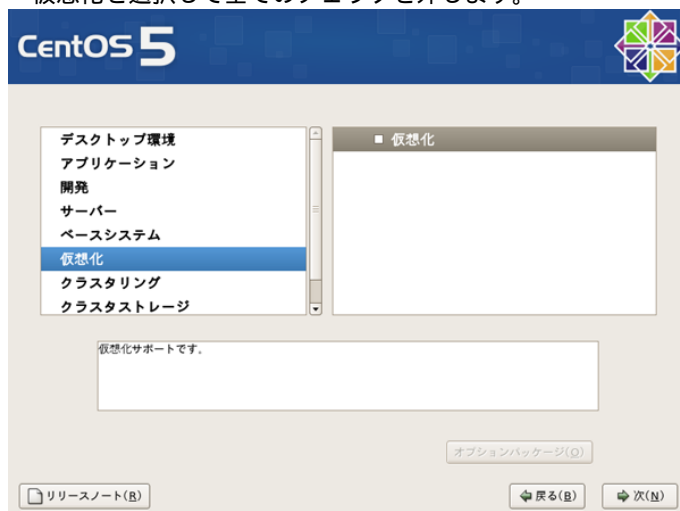
サーバーを選択して全てのチェックを外します。



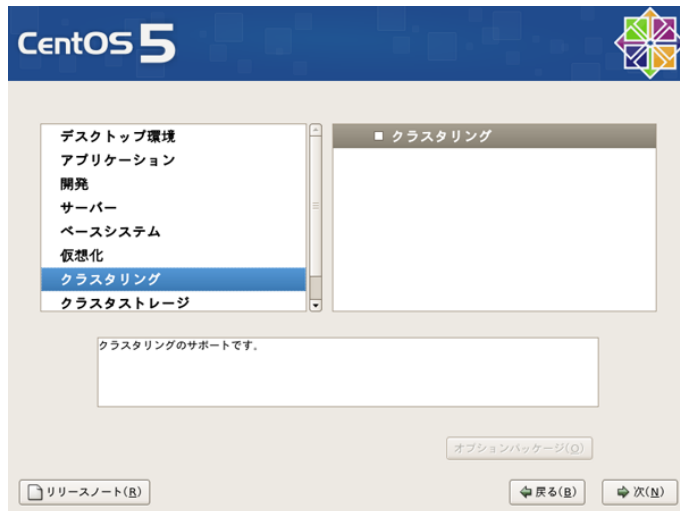
ベースシステムを選択して全てのチェックを外します。



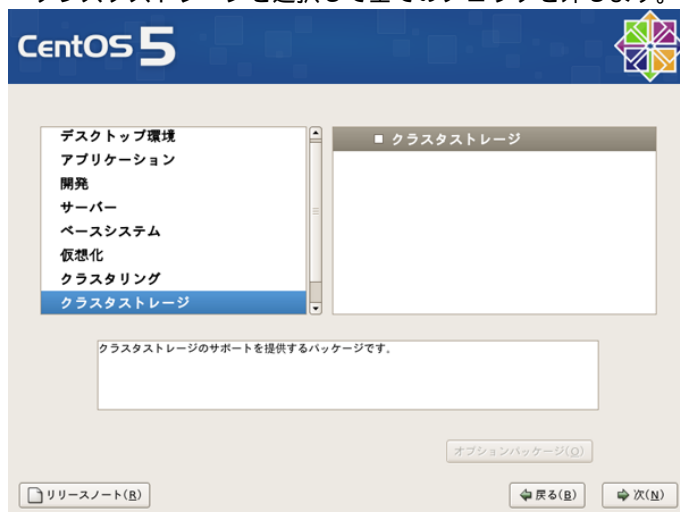
仮想化を選択して全てのチェックを外します。



クラスタリングを選択して全てのチェックを外します。

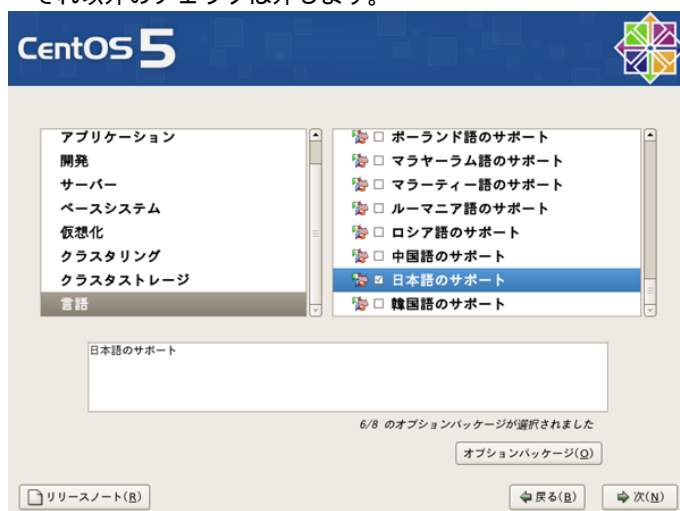


クラスタストレージを選択して全てのチェックを外します。



言語を選択して日本語のサポートにチェックを付けます。

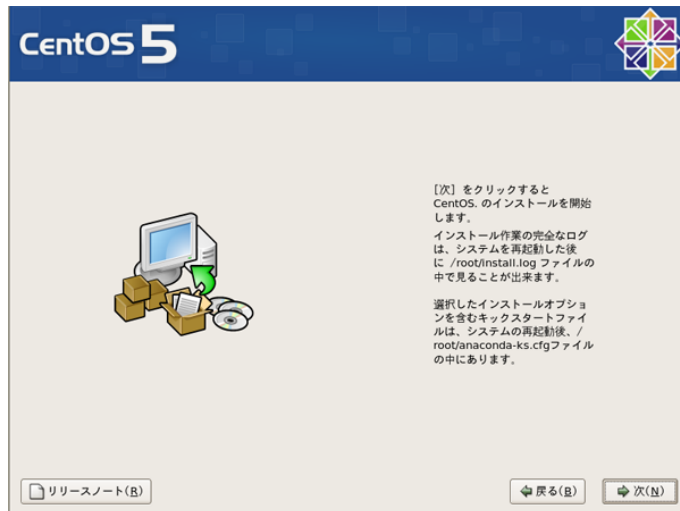
それ以外のチェックは外します。



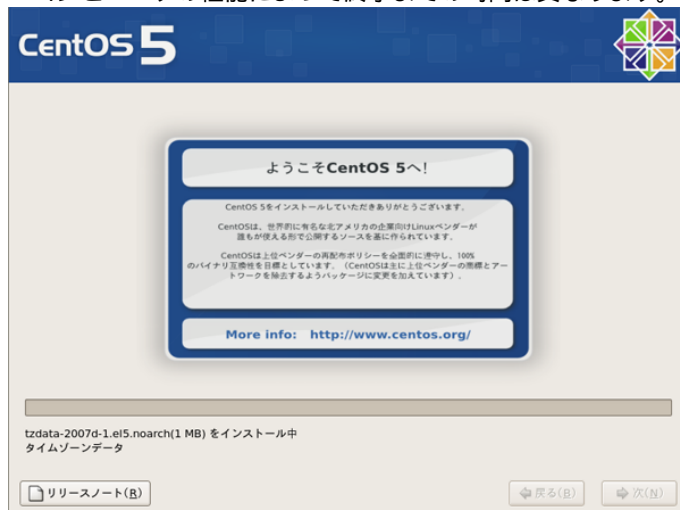
[次]をクリックします。

3.3.2.12. パッケージのインストール

以下の画面で[次]をクリックするとインストールが開始されます。

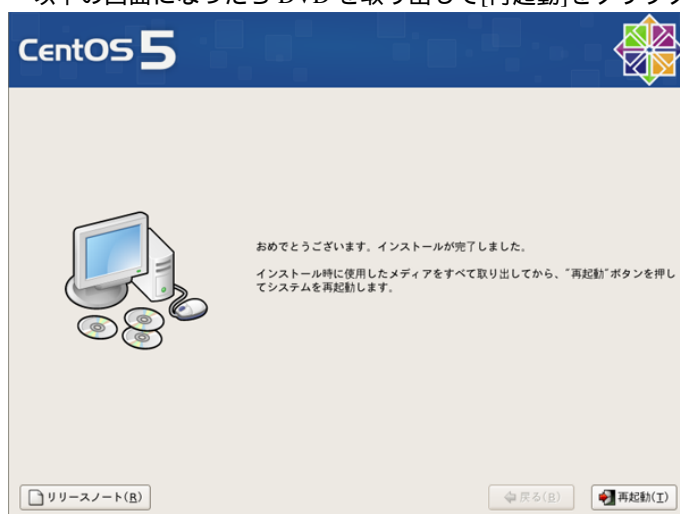


コンピュータの性能によって終了までの時間は異なります。



3.3.2.13. インストールの完了

以下の画面になったら DVD を取り出して[再起動]をクリックします。



3.4. CentOS5 のカスタマイズ

ここでは XooNIps インストールに必要な設定を説明します。

3.4.1. 管理用アカウントの作成

以下の手順でサーバに root でログインします。

```
xoonips-server login: root    ログインユーザ名として root と入力
Password:                  root のパスワードを入力 (表示はされない)
[root@xoonips-server ~]#    root でログインした状態
```

管理用アカウントを以下のコマンドで作成します。

```
[root@xoonips-server ~]# useradd admin    管理用アカウント admin の作成
[root@xoonips-server ~]# passwd admin    admin のパスワード設定
Changing password for user admin.
New UNIX password:            admin のパスワード入力
Retype new UNIX password:    admin のパスワード再入力
passwd: all authentication tokens updated successfully.
```

3.4.1.1. admin ユーザのみ su が実行出来るように設定する

root 権限は何でも出来てしまう誤操作で重要なファイルを削除してしまったりすることがあるので、普段の作業は必ず admin ユーザで行い、必要な時にだけ su コマンドを使って root 権限を使用するように設定します。

```
[root@xoonips-server ~]# usermod -G wheel admin    ユーザ admin を wheel グループに追加
[root@xoonips-server ~]# vi /etc/pam.d/su          vi エディタでファイルを編集する。
#auth required pam_wheel.so use_uid
```

```
auth required pam_wheel.so use_uid                コメント削除
```

vi エディタの用法については WEB や書籍などを参照してください。

ログアウトして次回以降ユーザ admin で作業を行います。

```
[root@xoonips-server ~]# exit    ログアウト
```

3.4.2. システムのアップデート

以下のコマンドでユーザ admin でログインします。

```
xoonips-server login: admin    ログインユーザ名として admin と入力
Password:                    admin のパスワードを入力(表示はされない)
[admin@xoonips-server ~]$    admin でログインした状態
```

以下のコマンドで root ユーザになり、システムのアップデートを実行します。

```
[admin@xoonips-server ~]$ su -    su コマンドで root になる
Password:                        root のパスワードを入力
[root@xoonips-server ~]#          root になった状態
```

以後、指定があるまで root 権限のまま作業を行います。

```
[root@xoonips-server ~]# yum -y update    システムのアップデートコマンドを実行
```

ネットワークの状態やコンピュータの性能によっては実行に時間がかかります。

システムが最新の状態に交信されます。

3.4.3. 必要パッケージのインストール

XooNIps のインストールには以下のパッケージをインストールする必要があります。

gcc	gcc-c++	glib-devel
glib2-devel	libgsf-devel	php-mysql
php-gd	php-mbstring	php-devel
php-xml	php-pear	php-pecl-Fileinfo
poppler-utils	lynx	mysql-server
wget		

以下のコマンドで必要パッケージをインストールします。

```
[root@xoonips-server ~]# yum -y install gcc gcc-c++ glib-devel glib2-devel libgsf-devel
[root@xoonips-server ~]# yum -y install php-mysql php-gd php-mbstring php-devel php-xml php-pear
[root@xoonips-server ~]# yum -y install php-pecl-Fileinfo poppler-utils lynx
[root@xoonips-server ~]# yum -y install mysql-server wget make
```

3.4.4. 外部補助プログラムのインストール

XooNIps を動作させる為に必要な外部プログラムをインストールします。

外部補助プログラムの取得

```
[root@xoonips-server ~]# wget http://prdownloads.sf.net/chicago/xlhtml-0.5.tgz
[root@xoonips-server ~]# tar -xzf xlhtml-0.5.tgz          取得ファイルの展開
[root@xoonips-server ~]# cd xlhtml-0.5
[root@xoonips-server ~]# cp /usr/share/automake-1.9/depcomp ./ インストールに必要なコマンドをコピー
[root@xoonips-server ~]# ./configure                     configure の実行
[root@xoonips-server ~]# make                             make の実行
[root@xoonips-server ~]# make install                    インストールの実行
[root@xoonips-server ~]# cd                               展開ディレクトリから抜ける
```

外部補助プログラムの取得

```
[root@xoonips-server ~]# wget http://downloads.sourceforge.net/wwware/wv-1.2.4.tar.gz
[root@xoonips-server ~]# tar -xzf wv-1.2.4.tar.gz        取得ファイルの展開
[root@xoonips-server ~]# cd wv-1.2.4
[root@xoonips-server ~]# ./configure                     configure の実行
[root@xoonips-server ~]# make                             make の実行
[root@xoonips-server ~]# make install                    インストールの実行
[root@xoonips-server ~]# cd                               展開ディレクトリから抜ける
```

XooNIps が外部補助プログラムを利用できるようにシンボリックリンクを作成します。

```
[root@xoonips-server ~]# ln -s /usr/local/bin/xlhtml /usr/bin/xlhtml
[root@xoonips-server ~]# ln -s /usr/local/bin/pphtml /usr/bin/pphtml
[root@xoonips-server ~]# ln -s /usr/local/bin/wvText /usr/bin/wvText
```

外部補助プログラムインストールの後始末をします

```
[root@xoonips-server ~]# rm -rf xlhtml-0.5
[root@xoonips-server ~]# rm -rf wv-1.2.4
[root@xoonips-server ~]# rm -f xlhtml-0.5.tgz
[root@xoonips-server ~]# rm -f wv-1.2.4.tar.gz
```

3.4.5. iptables の設定

パケットフィルタリングの設定をします。

初期状態では Web サーバへのアクセスが制限された状態になっているため、接続を許可する設定を行います。

```
[root@xoonips-server ~]# vi /etc/sysconfig/iptables
```

以下の行をコピーします。

```
-A RH-Firewall-l-INPUT -m state --state NEW -m tcp -p tcp --dport 22 -j ACCEPT
```

コピーした行の 22 を 80 に変更する。

```
-A RH-Firewall-l-INPUT -m state --state NEW -m tcp -p tcp --dport 80 -j ACCEPT
```

```
[root@xoonips-server ~]# /etc/init.d/iptables restart
```

パケットフィルタリングソフトを再起動する。

3.4.6. SELinux の無効化

XOOPS の利用には SELinux を無効にする必要があります。

```
[root@xoonips-server ~]# getenforce
```

Enforcing

SELinux 状態確認

SELinux 有効

```
[root@xoonips-server ~]# setenforce 0
```

SELinux 無効化

```
[root@xoonips-server ~]# getenforce
```

SELinux 状態確認

Permissive

SELinux 無効

```
[root@xoonips-server ~]# vi /etc/sysconfig/selinux
```

SELinux 設定ファイル編集

SELINUX=enforcing

SELINUX=disabled

システム起動時に SELinux を無効化

3.4.7. Apache の設定

Web サーバ(Apache)の設定をします。

3.4.7.1. 設定ファイルの編集

```
[root@xoonips-server ~]# vi /etc/httpd/conf/httpd.conf
```

設定ファイルの編集

AddDefaultCharset UTF-8

#AddDefaultCharset UTF-8

コメントにする

3.4.7.2. Web サーバの起動と自動起動設定

コンピュータを再起動したときに Web サーバも自動で起動するように設定します。

```
[root@xoonips-server ~]# /etc/init.d/httpd start
```

Web サーバ起動

```
[root@xoonips-server ~]# chkconfig httpd on
```

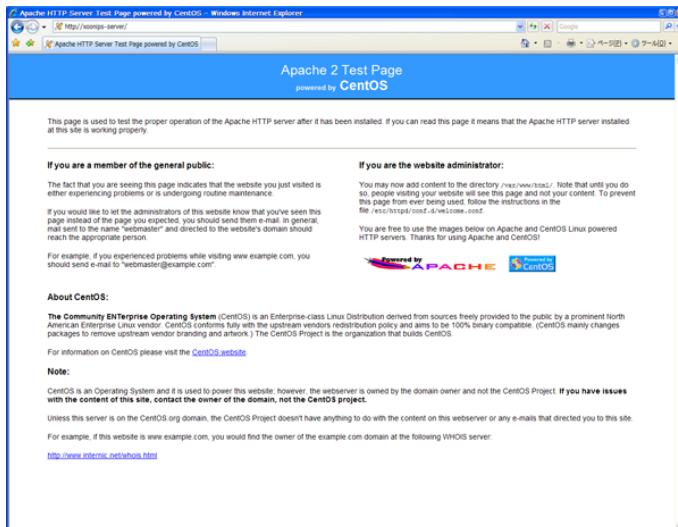
Web サーバの自動起動設定

3.4.7.3. Web サーバの動作確認

他のコンピュータでブラウザを起動し、アドレスを入力します。

例えば `http://(OS インストールの時に決めたホスト名)/` と入力します。

以下のような画面がブラウザに表示されていれば Web サーバの設定は完了です。



3.4.8. MySQL の設定

XooNips で使用する Database システムの設定を行います。

[root@xoonips-server ~]# vi /etc/my.cnf 設定ファイルの編集

[mysqld]セクションに以下の 2 行を追加します。

default-character-set=ujis

skip-character-set-client-handshake

3.4.8.1. MySQL の起動と自動起動設定

[root@xoonips-server ~]# /etc/init.d/mysqld start MySQL サーバ起動

[root@xoonips-server ~]# chkconfig mysqld on MySQL 自動起動設定

3.4.8.2. MySQL パスワードの設定と不要データの削除

[root@xoonips-server ~]# mysql -uroot MySQL サーバへ root ユーザでログイン

root ユーザのパスワードを設定(例は mysqlroot@pass)

mysql > set password for root@localhost=password('mysqlroot@pass');

mysql > delete from mysql.user where user=''; 匿名ユーザを削除します。

mysql > drop database test; test データベースの削除

3.4.8.3. XooNips 用データベースの作成

xoonipsdb という名前で XooNips 用のデータベースを作成します。

mysql > create database xoonipsdb character set ujis;

xoonipsdb にアクセスするユーザ xoonipsuser,パスワード xoonips@pass で作成します。

mysql > grant all privileges on xoonipsdb.* to xoonipsuser@localhost identified by'xoonips@pass';

mysql > exit MySQL サーバからログアウトする。

3.4.9. PHP の設定

XooNips の動作に必要な環境にするため PHP の設定ファイルを修正します。

[xoonips-server ~]# vi /etc/php.ini PHP 設定ファイルの編集

allow_url_fopen = On

`allow_url_fopen = Off` Off に修正する

以下の設定値は XooNIps サーバにファイルをアップロードする際に必要なメモリーサイズです。サーバの設計・構築に従って大きめの値を設定してください。

128MB 以上のファイルを XooNIps で扱う計画がある場合は本解説よりも大きな値を設定する必要があります。

設定値の範囲は `memory_limit >= post_max_size >= upload_max_filesize` である必要があります。

`memory_limit = 16M`

`memory_limit = 128M` 値を大きく設定する

`post_max_size = 8M`

`post_max_size = 128M` 値を大きく設定する

`upload_max_filesize = 2M`

`upload_max_filesize = 128M` 値を大きく設定する

`;session.use_only_cookies = 1`

`session.use_only_cookies = 1` コメントを外す

マルチバイト文字列関数の設定

`;mbstring.internal_encoding = EUC-JP`

`mbstring.internal_encoding = EUC-JP` コメントを外す

`;mbstring.detect_order = auto`

`mbstring.detect_order = ASCII,EUC-JP,UTF8` コメントを外し、ASCII,EUC-JP,UTF8 を追加する

変更した設定を有効にするため、Apache の再起動をします。

`[xoonips-server ~]# /etc/init.d/httpd restart` 設定を有効にするため Apache を再起動する

3.5. XOOPS のインストール

XooNIps を利用するための基盤となる XOOPS のインストールを行います。

XOOPS 公式サイトから最新版をダウンロードしてください(執筆時のバージョンは 2.1.6)

`[root@xoonips-server ~]# wget http://downloads.sourceforge.net/xoopscube/Package_Legacy_2_1_6.zip`

`[root@xoonips-server ~]# unzip Package_Legacy_2_1_6.zip` ダウンロードファイルを展開する

展開ファイルを Web サーバドキュメントルートにコピー

`[root@xoonips-server ~]# cp -R Package_Legacy/html/ /var/www/`

`[root@xoonips-server ~]# rm -rf Package_Legacy` 展開ディレクトリを削除

`[root@xoonips-server ~]# rm -f Package_Legacy_2_1_6.zip` ダウンロードファイルを削除

`[root@xoonips-server ~]# chmod 777 /var/www/html/uploads` パーミッションを変更

`[root@xoonips-server ~]# chmod 777 /var/www/html/cache` パーミッションを変更

`[root@xoonips-server ~]# chmod 777 /var/www/html/templates_c` パーミッションを変更

`[root@xoonips-server ~]# chmod 666 /var/www/html/mainfile.php` パーミッションを変更

警告

最新版のダウンロード URL は公式サイトで確認してください。

ダウンロードページ(Legacy2.1.6) [http://downloads.sourceforge.net/xoopscube/Package_Legacy_2_1_6.zip]

3.5.1. XOOPS セットアップ

Web ブラウザで <http://サーバ名/へアクセスをします。>



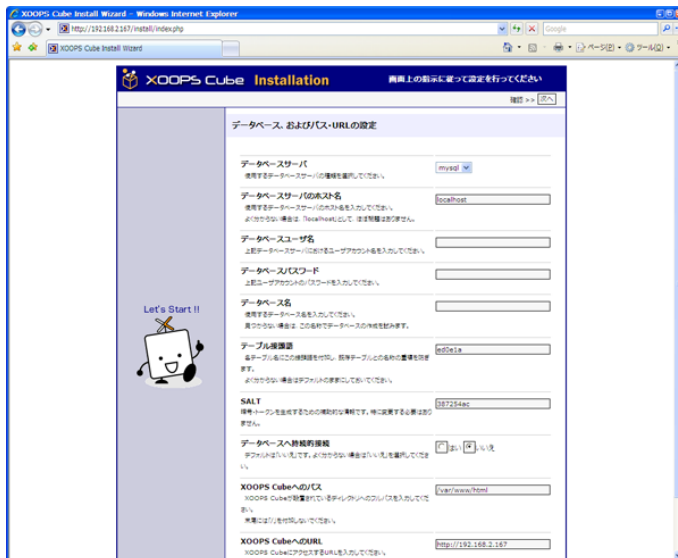
japanese を選択して[次へ]をクリックします。



[次へ]をクリックします。



[次へ]をクリックします。



MySQL の設定で作成したデータベースユーザ名・データベースパスワード・データベース名を入力します。
空欄へ以下の情報を入力して[次へ]をクリックします。

データベースユーザ名	xoonipsuser
データベースパスワード	xoonips@pass
データベース名	xoonipsdb



[次へ]をクリックします。



[次へ]をクリックします。



[次へ]をクリックします。



[次へ]をクリックします。



[次へ]をクリックします。



[次へ]をクリックします。



以下の情報を入力して[次へ]をクリックします。

ここで作成するのは XOOPS を管理するユーザです。

CentOS のユーザや MySQL のユーザとは別のものになります。

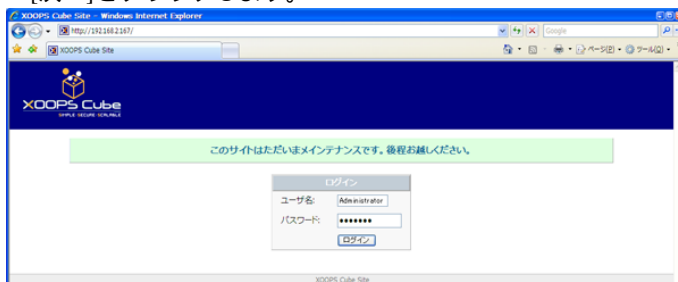
管理者ユーザ名	XOOPS サイト管理者ユーザ名(例は Administrator)
管理者メールアドレス	XOOPS サイト管理者メールアドレス(例は admin@xoonips.jp)
管理者パスワード	パスワード
管理者パスワード(再入力)	パスワード



[次へ]をクリックします。



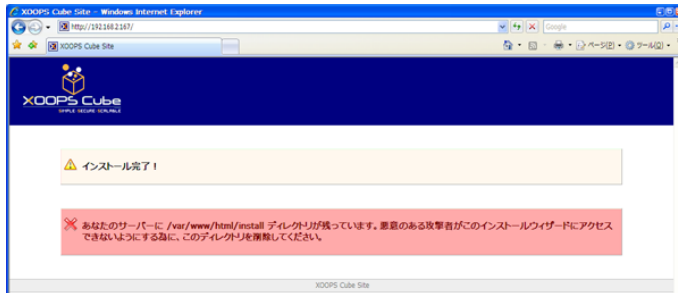
[次へ]をクリックします。



XOOPS の管理者ユーザ名とパスワードを入力して[ログイン]をクリックします。



インストールボタンをクリックします。



インストール完了です。

Web ブラウザを一度終了してください。

3.5.2. XOOPS インストール後の後始末

```
[root@xoonips-server ~]# rm -rf /var/www/html/install/
```

install ディレクトリ削除

```
[root@xoonips-server ~]# chmod 644 /var/www/html/mainfile.php
```

パーミッション変更

3.6. XooNips のインストール

XooNips 最新版をダウンロードします。

XooNips 最新版をダウンロード

```
[root@xoonips-server ~]# wget http://osdn.dl.sourceforge.jp/xoonips/30526/xoonips-3.4.tar.gz
```

ダウンロードファイルを展開

```
[root@xoonips-server ~]# tar -xzf xoonips-3.4.tar.gz
```

XooNips モジュールを module ディレクトリにコピー

```
[root@xoonips-server ~]# cp -R xoonips-3.4/xoonips/ /var/www/html/modules/
```

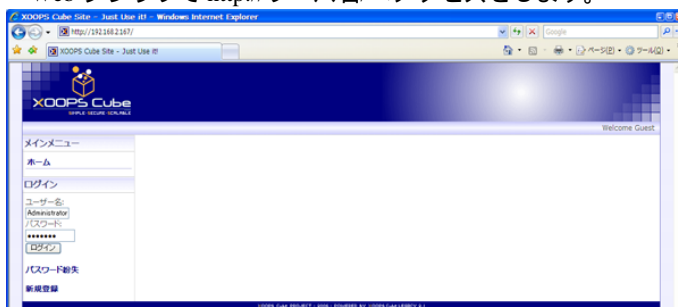
警告

ダウンロード URL はミラーのため変更される可能性があります。

ダウンロードページ [<http://prdownloads.sourceforge.jp/xoonips/30526/xoonips-3.4.tar.gz>]

3.6.1. XooNips セットアップ

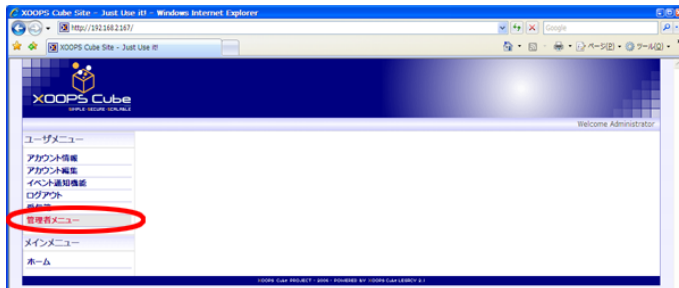
Web ブラウザで <http://サーバ名/>へアクセスをします。



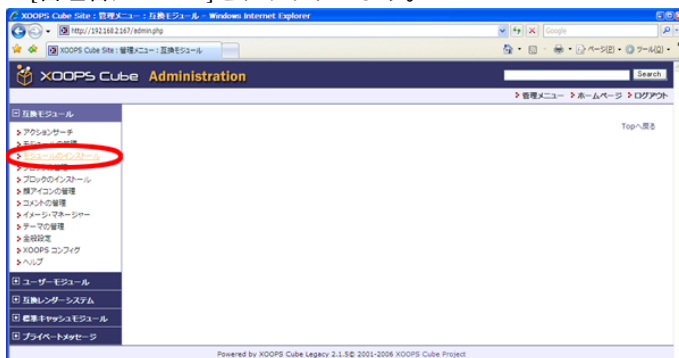
情報を入力してログインボタンをクリックします。

ユーザ名 管理者ユーザ名(例は Administrator)

パスワード 管理者パスワード



[管理者メニュー]をクリックします。



[モジュールのインストール]をクリックします。



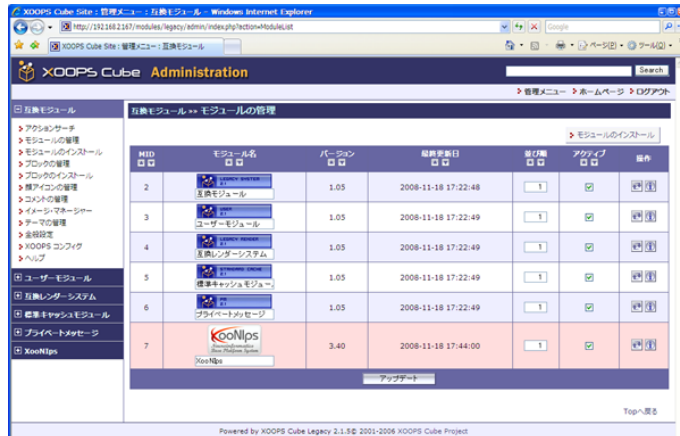
操作欄にあるインストールアイコンをクリックします。



インストールボタンをクリックします。



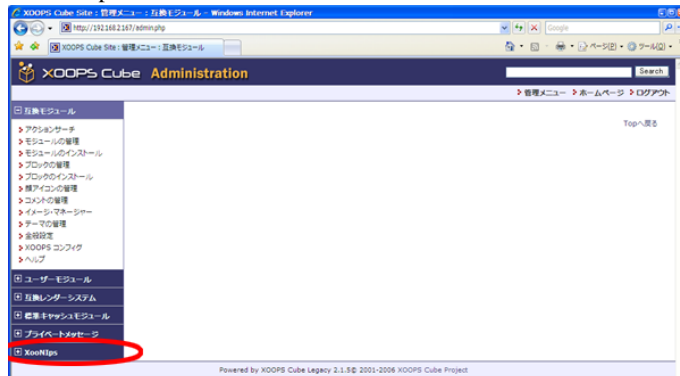
[モジュールの管理]をクリックします。



XooNips のインストールが正常に行われていればこのような画面になります。

3.6.2. XooNips の初期設定と確認

XooNips を使用するための設定をします。



管理者メニューで[XooNips]をクリックします。



[システム設定]をクリックします。

3.6.2.1. ファイルアップロードディレクトリの変更

Web サーバの権限で書き込みが出来るディレクトリを指定する必要があります。

```
[root@xoonips-server ~]# mkdir /var/www/xoonipsupload
```

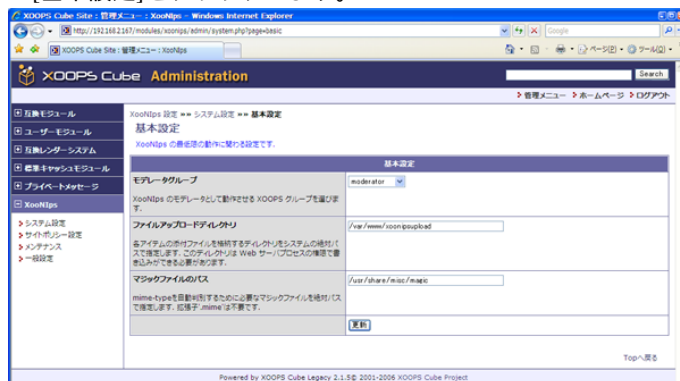
ディレクトリを作成

```
[root@xoonips-server ~]# chmod a+w /var/www/xoonipsupload
```

パーミッションを変更する。



[基本設定]をクリックします。



[ファイルアップロードディレクトリ]の項目に/var/www/xoonipsupload と入力します。

更新ボタンをクリックして変更した設定を有効にします。

3.6.2.2. インラインフレーム設定

ここではインデックスツリーの表示領域を変更することが出来ます。



[インラインフレーム表示設定]をクリックします。



インデックスツリーの幅とインデックスツリーの高さを数値で入力して更新ボタンを押します。

インデックスツリーの幅を割合(%)で指定することによりブロック内での表示領域の割合を変更できます。



インデックスツリーの高さをピクセルで指定することにより表示領域の大きさを変更できます。



3.6.2.3. 印刷設定

ここではページを印刷する際にヘッダとして表示させる情報を入力することが出来ます。



[印刷設定]をクリックします。



入力した情報は詳細画面などを印刷の際ヘッダ情報として同時に印刷されます。

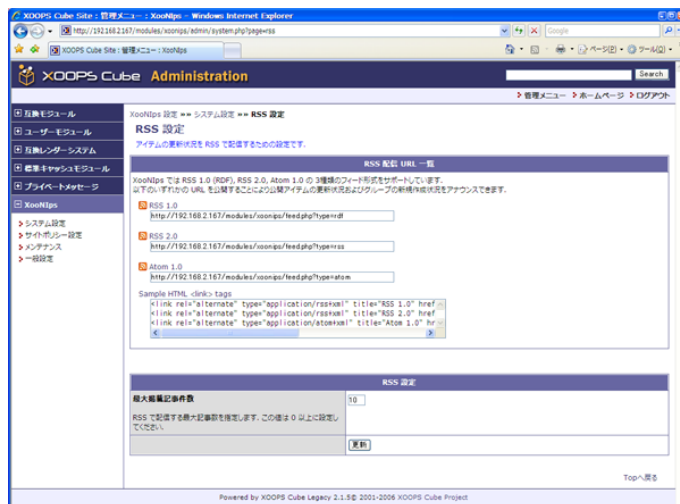
3.6.2.4. RSS 配信設定

XooNips は RSS1.0(RDF)、RSS2.0、Atom1.0 の3種類のフィード形式をサポートしています。

設定画面で表示される URL を公開することでアイテムの更新情報及びグループの新規作成状況がアナウンス出来ます。



[RSS 設定]をクリックします。



利用するフィード形式のテキストボックスの内容をコピーして公開してください。

3.6.2.5. OAI-PMH 設定

XooNips はメタデータの情報を機械的に収集する仕組みとして OAI-PMH を採用しています。

ここでは OAI-PMH に対応した別のサーバにメタデータを提供するための設定（リポジトリ設定）と OAI-PMH に対応した別のサーバからメタデータを収集するための設定（ハーベスタ設定）の両方が行えます。



[OAI-PMH 設定]をクリックします。



- ・リポジトリ設定はメタデータを他のサーバに提供する為の設定です。

リポジトリ名	例：INCF Japan Node XooNips site
--------	--------------------------------

データベース ID	サイト名等を利用してサイトを区別するための識別子を設定します。例： www.neuroinf.jp
アイテムの削除状態を保存する 日数	アイテムを削除したという情報の保存日数を指定します。
institution の値	OAI-PMH の応答に必要な institution の値を設定します。
publisher の値	OAI-PMH の応答に必要な publisher の値を設定します。

- ・ハーベスタ設定はメタデータを他のサーバから収集するための設定です。

メタデータを収集するサーバの URL を改行区切りで入力します。

行の先頭に(セミコロン);を付けた場合はその行はコメントになります。

3.6.2.6. プロキシ設定

XooNIps から他のサーバへアクセスする際プロキシを利用する場合に設定します。



[プロキシ設定]をクリックします。



ホスト名	プロキシサーバのホスト名を設定します
ポート番号	プロキシサーバのポート番号を設定します
ユーザ名	ユーザ認証が必要な場合にユーザ名を設定します
パスワード	ユーザ認証のパスワードを設定します

3.6.2.7. イベント通知設定

XOOPS が本来持っているイベント通知機能を利用して XooNIps がユーザに対して伝えることの出来るイベントを指定します。



[イベント通知設定]をクリックします。

イベント通知設定は以下の4つから選択します。

- この機能を無効にする
- イベント選択オプションをブロックに表示する
- イベント選択オプションをメインコンテンツ下部に表示する
- イベント選択オプションをブロックおよびメインコンテンツ下部の両方に表示する

特定イベントを有効にするの項目は複数の選択が可能です。

通知する相手	画面での表示	設定される内容
XooNips 管理者	管理者：アイテム移譲通知	アイテムが移譲されたことを通知します。
	管理者：アカウント承認通知	アカウントが承認されたことを通知します。
	管理者：アイテム承認通知	公開アイテムが承認されたことを通知します。
	管理者：グループアイテム承認要求通知	グループ領域へのアイテム承認要求があることを通知します。
ユーザ	XooNips ユーザ：アイテム移譲通知	アイテムが移譲されたことを通知します。
	XooNips ユーザ：アイテム更新通知	アイテムが更新されたことを通知します。
	XooNips ユーザ：アイテム承認通知	公開アイテムが承認されたことを通知します。
	XooNips ユーザ：アイテム承認拒否通知	公開アイテムの承認が拒否されたことを通知します。
	XooNips ユーザ：ファイルのダウンロードを通知	ファイルがダウンロードされたことを通知します。
	XooNips ユーザ：グループアイテム承認通知	グループ領域に登録したアイテムが承認されたことを通知します。
	XooNips ユーザ：グループアイテム承認拒否通知	グループ領域へのアイテム登録が拒否されたことを通知します。

3.6.2.8. XOOPS 拡張

XOOPS のユーザーモジュールでユーザの登録を行った場合、そのユーザが XooNips の機能を使えるようになります。

XOOPS のユーザーモジュールでユーザの削除を行った場合、XooNips に残っているユーザ情報を削除します。



[XOOPS 拡張]をクリックします。



操作欄にあるアイコンをクリックすることでユーザの追加や削除が行えます。

3.6.2.9. 動作確認

XooNips の動作設定を確認します。



[動作確認]をクリックします。



[テスト]をクリックします。



XooNips の設定情報が表示されます。

総合判定が OK になっていれば XooNips 動作前の設定は終了です。

赤色で表示された場所がある場合には、コメントに従って修正する必要があります。

3.6.3. アイテムタイプモジュールのインストール

続いてアイテムタイプモジュールのインストールをします。

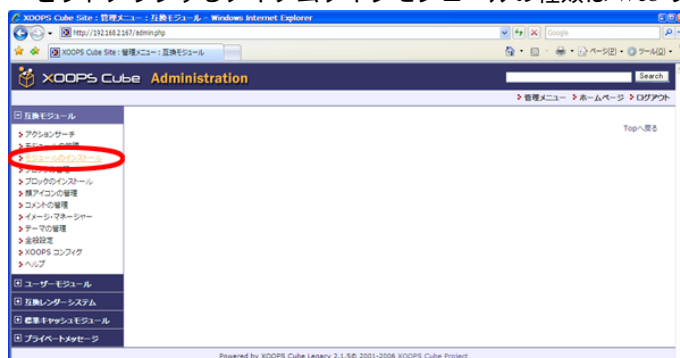
アイテムタイプモジュールを module ディレクトリにコピー

```
[root@xoonips-server ~]# cp -R xoonips-3.4/itemtypes/* /var/www/html/modules/
```

3.6.3.1. アイテムタイプモジュールのセットアップ

XooNips モジュールと同様の手順です。

セットアップするアイテムタイプモジュールの種類は Web サイトの計画と設計により変化します。



[モジュールのインストール]をクリックします。



XooNips のインストールと同様にインストールアイコンをクリックしてインストールします。

3.6.3.2. XooNips インストール後の後始末

```
[root@xoonips-server ~]# rm -f xoonips-3.4.tar.gz    ダウンロードファイル削除
[root@xoonips-server ~]# rm -rf xoonips-3.4          展開ディレクトリ削除
```

3.6.4. XooNips アップデート時の注意点

XooNips モジュール、アイテムタイプモジュールをバージョンアップする際にはディレクトリを上書き後、管理画面からアップデート作業を行ってください。

XooNips3.30 以降のバージョンへのアップデートは XooNips3.24 からのみをサポートしています。

XooNips3.2x から XooNips3.4 へアップデートする場合は Binder アイテムタイプモジュールを必ずインストールしてください。

3.6.5. 支援モジュールについて

標準状態では使いにくいシステムモジュールの代わりに利用できるモジュールや悪意のある攻撃から守る Protector モジュールなどがあります

XooNips3.4 での新機能アイテムへのコメント機能を利用するには altsys モジュールと D3forum モジュールのインストールが必要です。

ここでは XooNips でコメント機能を利用するために altsys モジュールと D3forum モジュールのインストールの簡単な説明を行います。

詳細な情報は配布サイトを確認してください。 <http://xoops.peak.ne.jp/>

3.6.5.1. altsys モジュールのインストール

標準システムモジュールの代替モジュールである altsys モジュールのインストールを行います。

mainfile.php を一点修正します

```
[xoonips-server ~]# vi /var/www/html/mainfile.php    mainfile.php ファイルの編集
define('XOOPS_TRUST_PATH','');

define('XOOPS_TRUST_PATH','/var/www/xoops_trust_path');  XOOPS_TRUST_PATH の設定を行う
```

配布サイトから最新版モジュールをダウンロードします。

```
[root@xoonips-server ~]# tar -xzf altsys-0.6.tar.gz    取得ファイルの展開
[root@xoonips-server ~]# cp -R xoops_trust_path /var/www/ 展開ファイルのコピー
[root@xoonips-server ~]# cp -R html/modules/altsys /var/www/modules 展開ファイルのコピー
[root@xoonips-server ~]# cp html/preload /* /var/www/html/preload/ 展開ファイルのコピー
```

この後は XooNIps やアイテムタイプモジュールと同様に管理者メニューのモジュールインストールからインストールを行ってください。

3.6.5.2. D3forum のインストール

XooNIps 3.4 の新機能アイテムへのコメント機能を利用するために必要な d3 モジュールのインストールを行います。

あらかじめ altsys モジュールのインストールを済ませておく必要があります。

配布サイトから最新版モジュールをダウンロードします。

<code>[root@xoonips-server ~]# tar -xzvf d3forum-0.8.tar.gz</code>	取得ファイルの展開
<code>[root@xoonips-server ~]# cp -R xoops_trust_path/modules /var/www/xoops_trust_path</code>	展開ファイルのコピー
<code>[root@xoonips-server ~]# cp -R html/modules/d3forum /var/www/modules</code>	展開ファイルのコピー
<code>[root@xoonips-server ~]# cp html/class/smarty/plugins/* var/www/html/class/smarty/ plugins/</code>	展開ファイルのコピー

この後は XooNIps やアイテムタイプモジュールと同様に管理者メニューのモジュールインストールからインストールを行ってください。

第4章 サイトポリシーとメンテナンス

ここではサイトポリシー設定について説明します。

4.1. サイトポリシー

ユーザ登録方法やアイテム公開方法等を決定します。

4.1.1. サイトポリシー設定



図 4.1. サイトポリシー設定

管理メニューで[サイトポリシー設定]をクリックします

4.1.2. ユーザ情報

ユーザの承認方法やユーザ情報の設定を行います。

ティップ

それぞれの項目について、更新ボタンを押して情報を反映させる必要があります。

・新規ユーザ登録方法の設定

XooNips はユーザ登録後、機能が使える登録ユーザになるためにはモデレーターの承認が必要です。

ユーザ登録した情報の有効化(アクティベーション)を行った後、更に XooNips を利用するためにはモデレーターの承認が必要です。

・アカウント有効化の方法

登録したユーザ情報を有効化する作業の手順を指定します。

表 4.1. ユーザー有効化の手順の設定

項目	説明
ユーザ自身の確認が必要(推奨)	ユーザ登録時のメールアドレスにユーザ情報の有効化を促すメールが送られます。ユーザがメールに従い登録情報を有効化します。
自動的にアカウントを有効にする	ユーザ情報は登録後自動的に有効になります。
管理者が確認してアカウントを有効にする	XOOPS の admisitrator がユーザ情報を有効化します。

・アカウント承認の方法

XooNips を利用出来るようにユーザを承認する作業を行うか否かを指定します

表 4.2. ユーザー承認を行うかの設定

項目	説明
モデレータが確認してアカウントを承認する	XooNIps のモデレータが XooNIps を利用出来るように承認をします。
自動的にアカウントを承認する	XooNIps への承認作業は行われず、ユーザーは登録後直ぐに XooNIps の利用が可能になります。

- ユーザ情報入力時の必須項目の設定

ユーザー登録の際、入力項目を入力必須とするか未入力可とするかをそれぞれ指定します。

- 新規ユーザ登録時の初期値の設定

登録ユーザーが Private 領域に登録できるアイテムの上限と HDD の使用量の上限を指定します。

表 4.3. ユーザーの HDD 使用領域の設定

項目	説明
最大アイテム数	Private(個人領域)に登録出来るアイテムの上限数を指定します。 デフォルト値は 5 0 0 で 5 0 0 個までアイテムを登録できます。
最大インデックス数	Private(個人領域)に登録出来るインデックスの数を指定します。 デフォルト値は 2 0 0 で 2 0 0 個までインデックスを登録出来ます。
最大ディスク容量	Private(個人領域)で使用する HDD の最大容量を MB 単位で指定します。 デフォルト値は 5 0 0 MB で個人が利用できるディスク使用量は 5 0 0 MB になります。

XooNIps 設定 >>> サイトポリシー設定 >>> ユーザ情報

ユーザ情報

ユーザ情報に関するポリシーの設定を行います。

新規ユーザ登録方法の設定	
アカウント有効化の方法	ユーザ自身の確認が必要(推奨) ▼
新規登録されたユーザを有効にするための方法を設定します。	
アカウント承認の方法	モデレータが確認してアカウントを承認する ▼
アカウントを有効化されたユーザが XooNIps を利用するためにはそのユーザアカウントを承認する必要があります。ここではこのアカウント承認の方法を設定します。	
更新	

ユーザ情報入力時の必須項目の設定	
本名	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
職業名/大卒名/会社名	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
所属	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
国名	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
住所	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
郵便番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
電話番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
FAX番号	<input checked="" type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 必須
更新	

新規ユーザ登録時の初期値の設定	
最大アイテム数	500
個人領域に登録可能なアイテム数の最大値を設定します。	
最大インデックス数	200
個人領域に登録可能なインデックス数の最大値を設定します。	
最大ディスク容量 [MB]	500
個人領域の利用可能なディスク容量の最大値を[MB]単位で指定します。小数点を含む実数も指定できます。	
更新	

図 4.2. ユーザー設定

4.1.3. グループ情報

グループ領域に登録できるアイテム数や HDD の使用量の上限を設定出来ます。

表 4.4. 新規グループ作成時の初期値の設定

項目	説明
最大アイテム数	Group(グループ領域)に登録出来るアイテムの上限数を指定します。 デフォルト値は 1 0 0 0 で 1 0 0 0 個までアイテムを登録出来ます。
最大インデックス数	Group(グループ領域)に登録出来るインデックスの数を指定します。 デフォルト値は 5 0 0 で 5 0 0 個までインデックスを登録出来ます。
最大ディスク容量	Group(グループ領域)で利用される HDD の最大容量を MB 単位で指定します。 デフォルト値は 1 0 0 0 でグループ内で 1 0 0 0 MB までディスクを利用できます。

図 4.3. グループ設定

4.1.4. アイテム情報

アイテムに関する設定です

ティップ

情報を反映させるためにはそれぞれの submit ボタンを押す必要があります。

アイテム公開

表 4.5. アイテムの公開ポリシー

項目	選択肢	説明
公開アイテムの承認方法	モデレータが確認してアイテムの公開を承認する	承認作業をモデレータが行います。承認されないとアイテムは公開領域に登録されません。
	自動的にアイテムの公開を承認する	承認作業を行いません。アイテムは直ぐに公開領域に登録されます。
公開領域を閲覧可能なユーザ	ゲストを含む全ユーザ	XooNips に登録していないゲストユーザーも含め全てのユーザーがアイテムをダウンロード出来ます。
	XooNips に登録されたユーザのみ	XooNips に登録している登録ユーザーのみアイテムをダウンロードできます。

その他の関連する設定

表 4.6. その他の関連する設定

項目	選択肢	説明
添付ファイルのダウンロード時のファイル形式	メタ情報と共に ZIP 圧縮刷る（推奨）	メタデータを含めて ZIP 圧縮したファイルをダウンロードします。
	オリジナルのまま	アイテムのオリジナルファイル形式のままダウンロードします。
公開領域の全アイテムから業績アイテムを選択可能にする	はい	全ての公開アイテムから業績アイテムを選択可能にします。
	いいえ	登録ユーザーが登録したアイテムからのみ業績アイテムを選択可能です。

XooNips 設定 ≫ サイトポリシー設定 ≫ アイテム情報 ≫ アイテム公開

アイテム公開

アイテムの公開に関するポリシーの設定を行います。

アイテムの公開ポリシー	
公開アイテムの承認方法 アイテムを公開するためにはそのアイテムの公開を承認する必要があります。ここでそのアイテム公開の承認方法を設定します。	モデレータが確認してアイテムの公開を承認する
公開領域を閲覧可能なユーザ 公開領域のインデックスやアイテムを閲覧することのできるユーザの範囲を設定します。	ゲストを含む全ユーザ
更新	

その他の関連する設定	
添付ファイルのダウンロード時のファイル形式 添付ファイルをダウンロードする際のファイル形式を指定します。	メタ情報と共に ZIP 圧縮する（推奨）
公開領域の全アイテムから業績アイテムを選択可能にする 「はい/え」を選択するとユーザ本人が登録したアイテムからのみ選択可能となります。	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
更新	

Topへ戻る

図 4.4. アイテム公開

4.1.5. アイテムタイプ

ホームページ上でアイテムタイプの表示名と表示準を変更できます。

Paper を English に変更する場合

XooNips 設定 ≫ サイトポリシー設定 ≫ アイテム情報 ≫ アイテムタイプ

アイテムタイプ

アイテムタイプに関する設定を行います。

≫ 表示設定

表示準は 1 以上の整数を指定してください。

アイテムタイプ	モジュール名	表示順	操作
Book Book	XooNips Book Item Type Module	1	
Paper Paper	XooNips Paper Item Type Module	1	
Tool Tool	XooNips Tool Item Type Module	1	
Stimulus Stimulus	XooNips Stimulus Item Type Module	1	
Model Model	XooNips Model Item Type Module	1	
Simulator Simulator	XooNips Simulator Item Type Module	1	
Binder Binder	XooNips Binder Item Type Module	1	
Conference Conference	XooNips Conference Item Type Module	1	
Presentation Presentation	XooNips Presentation Item Type Module	1	
Memo Memo	XooNips Memo Item Type Module	1	
Url Url	XooNips Url Item Type Module	1	
File File	XooNips Files Item Type Module	1	
Data Data	XooNips Data Item Type Module	1	
更新			

Topへ戻る

図 4.5. 表示名の変更

サイトポリシー設定画面で Peper を English に変更します



図 4.6. 表示名の変更 2

ホームページ上での表示が Paper から English に変更されます。



図 4.7. 表示名の変更 3

4.1.6. インポートエクスポート

インポート・エクスポートに関する設定です

- エクスポート

エクスポートに関する設定です。

表 4.7. Related Other Policies

項目	説明
エクスポートを許可	エクスポートの許可設定です。 はいを選択すると、登録ユーザーが自分の作成したアイテムをエクスポート出来るようになります。 ティップ モデレーターはこの設定に関わらず、何時でもアイテムをエクスポート出来ます。
添付ファイルのエクスポートを許可	添付ファイルのエクスポート許可設定です。 はいを選択すると、アイテムの添付ファイルをエクスポート出来るようになります。

- インポート

インポートに関する設定です。

はいを選択すると、登録ユーザーが自分の Private 領域にアイテムをインポート出来るようになります。

ティップ

モデレーターはこの設定に関わらず、何時でもアイテムをエクスポート出来ます。

Xoonips 設定 ≫ サイトポリシー設定 ≫ アイテム情報 ≫ インポート・エクスポート

インポート・エクスポート

インポート・エクスポートに関するポリシーの設定を行います。

エクスポート	
エクスポートを許可 「はい」を選択すると登録ユーザが自身の作成したアイテムをエクスポートできるようになります。ただし、モデレータはこの設定に関わらずいつでもエクスポートできます。	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
添付ファイルのエクスポートを許可 「はい」を選択するとアイテムの添付ファイルをエクスポートできるようになります。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
[更新]	

インポート	
インポートを許可 「はい」を選択すると登録ユーザが自身の個人環境に対してデータをインポートできるようになります。ただし、モデレータはこの設定に関わらずいつでもインポートできます。	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
[更新]	

Topへ戻る

図 4.8. インポート・エクスポート

4.1.7. コメント機能

コメント機能を利用するには外部モジュールの altsys,d3forum モジュールのインストールが必須です。
d3forum モジュールであらかじめフォーラムを作成しておくことも必須です。

- ディレクトリ名の設定

コメント機能で利用する d3forum のディレクトリ名を指定します。

- フォーラム ID の設定

あらかじめコメント用に d3forum で作成したフォーラム ID 番号を指定します。

Xoonips 設定 ≫ サイトポリシー設定 ≫ アイテム情報 ≫ コメント機能

コメント機能

アイテムへのコメント機能の設定を行います。
この機能は d3forum モジュールに依存しており、利用するにはまず d3forum をインストールしコメントを格納するフォーラムを作成する必要があります。

コメント機能	
ディレクトリ名の設定 コメント機能で利用する d3forum のディレクトリ名の設定を行います。	<input type="text" value="d3forum"/>
フォーラム ID の設定 d3forum で作成したフォーラムの ID 番号を設定します。	<input type="text" value="1"/>
[更新]	

Topへ戻る

図 4.9. コメント機能の設定

その他に必要な設定として

altsys モジュールのテンプレート編集機能等を利用して xoonips_detail.html の最終行を修正します。

先頭の < { * 3 文字と最後の 3 文字 * } > を削除します。

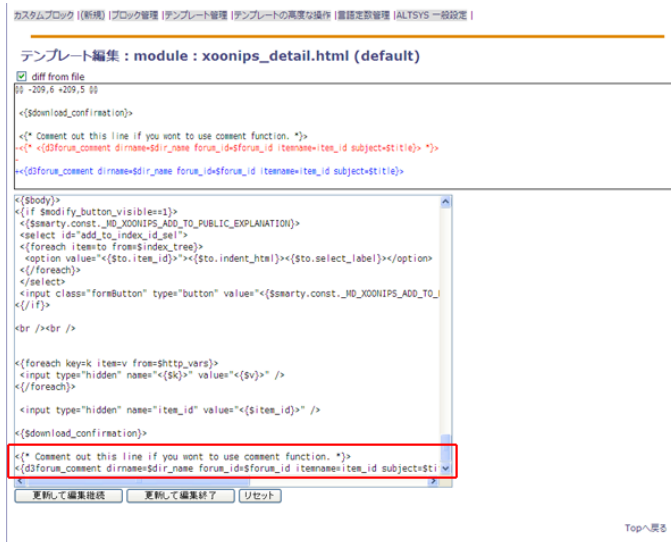


図 4.10. コメント機能の設定 2



図 4.11. コメント機能の設定 3

d3forum のフォーラム管理画面で「コメント統合時の参照方法」の欄に
 {XOOPS_URL}/modules/xoonips/detail.php?item_id=%s と入力します。



図 4.12. コメント機能の設定 4

アイテムの詳細画面でアイテムに対してコメントを付けることが出来るようになります。

4.1.8. モデレーター権限

モデレーターによるアイテムの編集を許可する設定です

はいを選択すると、モデレーターは全登録ユーザーのアイテムを編集できるようになります。



図 4.13. モデレータ権限設定

4.1.9. 職名一覧

表示順と新規追加などの設定です

ユーザー情報の職名として選択可能な項目を設定します。

- 編集

職名の変更と表示順の設定はテキストボックスに入力して更新ボタンを押して情報を更新します。

表示順の数値順にユーザー一覧で表示されます。

操作の項目のアイコンをクリックするとその項目は削除されます。

- 新規登録

新たに職名を追加することが出来ます。

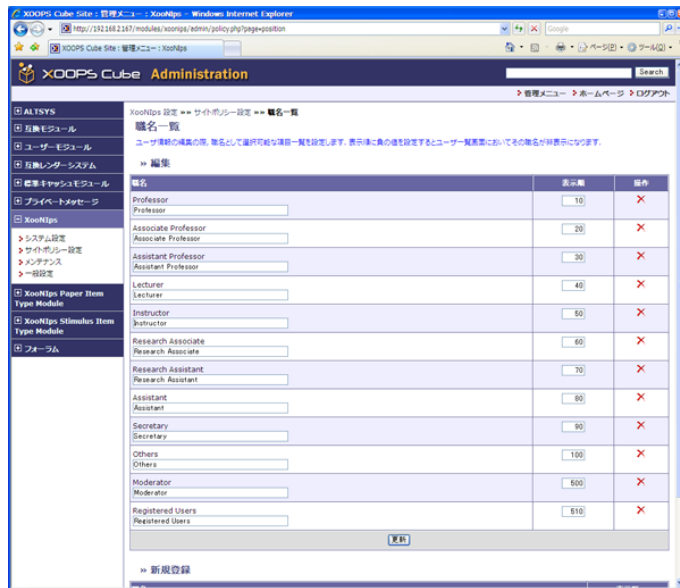


図 4.14. 職名一覧設定

4.1.10. ランキング

ランキングの表示に関する設定です。

- ブロック：ランキング

表示するの項目にチェックを入れると、その項目が表示されるようになります。

並べ替えの三角で表示順の並べ替えが出来ます。ドロップダウンリストで4段分まで一度に上下することも可能です。

2を選んで上三角をクリックすれば、項目は2つ上に移動します。

各ランキングの上位何件まで表示するかを決定できます。

- ブロック：新着

新着情報の表示に関する設定です。

各新着情報の上位何件まで表示するかを決定できます。

- ランキング対象期間

ランキング対象期間の設定

チェックボックスにチェックを入れた場合、その期間のファイルはランキングに反映されません。

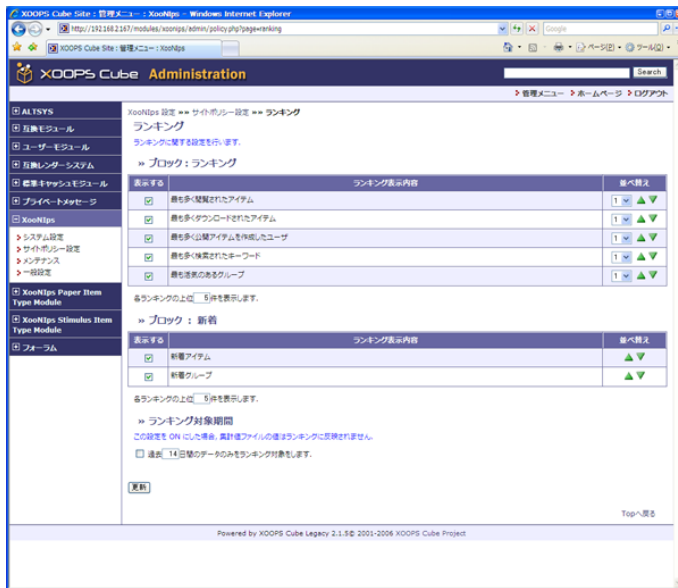


図 4.15. ランキング設定

4.2. メンテナンス

ユーザーの追加や、メタデータのハーベストなど、日常的に行う作業項目です。

4.2.1. メンテナンス

XooNips 運用上発生する日常的な作業についての説明です。



図 4.16. メンテナンス

4.2.2. ユーザー管理

ユーザー情報の編集と削除、新規ユーザーの追加登録が出来ます。



図 4.17. ユーザ管理

操作欄のペンアイコンをクリックするとユーザ情報の編集が出来ます。

操作欄の X アイコンをクリックするとユーザの削除が出来ます。

4.2.2.1. 新規ユーザーの登録・既存ユーザー情報の編集

ユーザー情報の編集をします。* は必須入力項目です。更新が終わったら画面最下部の更新ボタンを押して情報を反映させます。

パスワードの変更はここで変更が可能です。

必須項目の数はサイトポリシーのユーザ情報で設定した項目により増減します。

• ユーザ名

XooNIps サイト上で表示されるユーザーのニックネームを入力します。

• 本名

ユーザーの本名を入力します。

• メールアドレス

E メールアドレスを入力します。ユーザー情報としてメールアドレスを公開する場合にはチェックボックスにチェックを付けます。

• ホームページ

ユーザーが公開したい URL を入力します。

• 所属グループ

ユーザーが所属する XOOPS グループを選択します。

表 4.8. 所属グループ

名称	説明
サイト管理者	XOOPS で指定されている Webmasters グループに所属させます
登録ユーザ	XOOPS で指定されている Registered Users グループに所属させます。 一般登録ユーザーの場合にはこのグループのみに所属させます。
moderator	XooNIps の moderator グループに所属させます。 新規登録ユーザーがモデレータの場合にはこのグループに所属させます。

• 職名

ユーザーの役職名をドロップダウンリストから選択します。

• 所属

ユーザーの所属部署などを入力します。

• 機関名 / 大学名 / 会社名

ユーザーの所属する機関名・大学名・会社名などを入力します。

• 電話番号

ユーザーが公開したい電話番号を入力します。

• FAX 番号

ユーザーが公開したい FAX 番号を入力します。

• 住所

ユーザーが公開したい住所を入力します。

• 国名

ユーザーの国名を入力します。

- 郵便番号

ユーザーが公開したい郵便番号を入力します。

- タイムゾーン

ユーザーの国に合わせたタイムゾーンを選択します。

- 趣味

ユーザーの公開したい趣味などを入力します。

- 自由記述

自由記述項目です。

- 署名

署名を入力します。投稿に署名を必ず追加する場合はチェックボックスにチェックを付けます。

- パスワード

パスワードを登録します。

- パスワード確認

上と同じパスワードをもう一度入力してもらうことで、パスワードの確認を行います。

- 送信メール感覚[日]

イベント更新通知メッセージの受け取り方法で新しいアイテムの登録時にメールで情報を受け取る様に設定した場合、メールが送られる間隔を日数で指定します。

イベント更新通知メッセージの受け取り方法をメールに指定した場合に有効な設定です。

- プライベートの最大アイテム数

Private 領域の最大アイテム数を入力します。

デフォルト値は500でPrivate領域に500アイテムまで登録できます。

- プライベートの最大インデックス数

Private 領域の最大インデックス数を入力します。

デフォルト値は200でPrivateIndexに200個までキーワードを登録できます。

- プライベートの最大ディスク容量 [MB]

Private 領域の最大ディスク容量をMB単位で入力します。

デフォルト値は500でPrivate領域のディスク使用量は500MBになります。

- コメント表示モード

コメントの表示モードを指定します。

XooNIps3.4のアイテムへのコメント機能の設定ではありません。XOOPS標準のコメント機能についての設定です。

表 4.9. コメント表示モード

表示モード	説明
ネスト表示	コメントがネスト表示されます。 ツリーに従ってコメントの部分はインデントされます。
フラット表示	コメントがフラット表示になります。 全てのコメントが投稿時間順に全文表示されます。
スレッド表示	コメントが件名によってグループ化して表示されます（スレッド表示） スレッドの最初の投稿のみ全文表示され、コメントはタイトルだけその下に並びます。

- コメントの並び順

コメントの並び順を指定します。

表 4.10. コメントの並び順

並び順	説明
古いものから	コメントが古い順に表示されます。
新しいものから	コメントが新しい順に表示されます。

- ランク

ランクを指定します。

未選択の状態では問題ありません。

- イベント更新通知メッセージの受け取り方法

イベント通知メッセージの受け取り方法を指定します。

表 4.11. メッセージ受け取り

メッセージ受け取り方法	説明
一時的に中止	イベント通知のメッセージ受け取りを一時的に停止させます。
プライベートメッセージ	イベント通知のメッセージを XOOPS の PM 機能で受け取ります。
メール	イベント通知のメッセージをユーザー情報の E メールアドレスで受信します。

- イベント通知のタイミング

イベント通知メッセージの通知タイミングを指定します。

表 4.12. 通知タイミング

通知タイミング	説明
イベント更新時に必ず通知する	イベント発生時に必ず通知する設定です。
一度だけ通知する	一度だけ通知する。
一度通知した後、再度ログインするまで通知しない	一度通知した後、再度ログインするまで通知しない。

- 当サイトの新着情報などをメールで受け取る

当 XooNIps サイトの新着情報等をメールで受け取るか否かを指定します。

XooNIps 設定 >>> メンテナンス >>> ユーザ管理 >>> 新規ユーザ追加

新規ユーザ追加

ユーザ名 *	<input type="text"/>
本名	<input type="text"/>
メールアドレス *	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> このメールアドレスを公開する
ホームページ	<input type="text"/>
所属グループ	<div>サイト管理者 モデレーター moderator</div>
職名	<input type="text"/>
所属	<input type="text"/>
機関名/大学名/会社名	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
FAX番号	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
国名	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
タイムゾーン	GMT+9 標準時、タチシマ、ロンドン、リスボン、エジソバ
趣味	<input type="text"/>
自由記述	<div><div></div><div></div></div>
署名	<div><div></div><div></div></div> <input type="checkbox"/> 投稿に署名を必ず追加する
パスワード *	<input type="password"/>
パスワード確認 *	<input type="password"/>
送信メール間隔 [日]	0
プライベートの最大アイテム数 *	500
プライベートの最大インデックス数 *	200
プライベートの最大ディスク容量 [MB] *	500
コメント表示モード *	ネスト表示
コメントの並び順 *	古いものから
ランク *	<div>----- ▼</div>
イベント更新通知メッセージの受取方法 *	プライベート・メッセージ
イベント通知のタイミング *	イベント更新時に必ず通知する
当サイトの新着情報などをメールで受け取る *	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
	<input type="button" value="更新"/>

Topへ戻る

図 4.18. ユーザ登録

入力された情報はホームページの XooNIps User Menu のユーザ情報から確認出来ます。

4.2.3. アイテム管理

公開アイテムの一括取り下げ、ユーザー毎のアイテムの一括削除、アイテムの移譲が出来ます。

- 公開アイテム一括取り下げ

公開アイテムの一括取り下げを行います。

- アイテム一括削除

アイテム一括削除を行います。

- アイテムの移譲

退会したユーザのアイテムを別のユーザに移譲します。

4.2.3.1. 公開アイテム一括取り下げ

Public に登録されているアイテムをインデックス毎に選択して削除することが出来ます。

ティップ

Public index への公開が取り下げられるのみでアイテムが削除されることはありません。

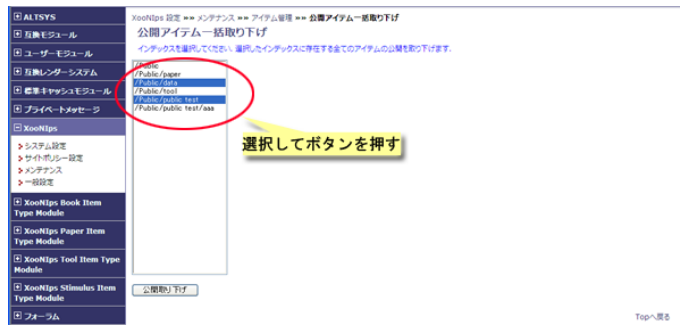


図 4.19. 公開アイテム一括取り下げ

4.2.3.2. アイテム一括削除

ユーザーのアイテムをインデックス毎に削除することができます。

ドロップダウンリストからユーザーを選択します



図 4.20. アイテム一括削除

一括削除したいインデックスを選択して、削除ボタンを押すと削除が実行されます。



図 4.21. アイテム一括削除 2

4.2.3.3. アイテムの移譲

XooNips では登録したアイテムの修正や変更は登録したユーザーのみが行えます。

ユーザーがサイトを退会した場合などに登録アイテムの修正や変更が行えるように権限を移譲することが出来ます。

ドロップダウンリストで権限を移譲する側(From)とされる側(To)のユーザーと Index Keyword を選択します。

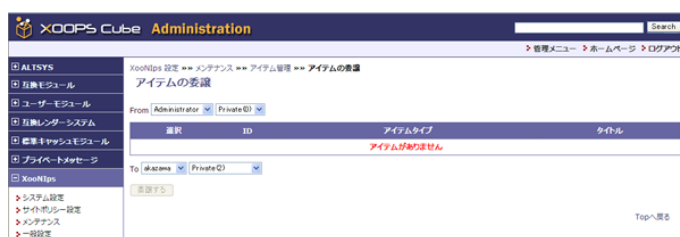


図 4.22. アイテムの移譲

移譲するアイテムの欄にチェックをつけて移譲するボタンを押すと確認画面が表示されます。

XooNlps 設定 == メンテナンス == アイテム管理 == アイテムの移譲

アイテムの委譲

アイテム(15)は右のアイテムからも参照されているため移譲できません。

From: akazawa (paper 01)

ID	アイテムタイプ	タイトル
36	Book	book title test
11	English	Destructive electrophoretic patterns of Esterases from Levisia malonatica, Levisia amalontica and Citrobacter.
13	English	Dose-effect relationship and safety of oral administration of penbutolol. A new beta adrenoceptor antagonist in normal subjects.
14	English	Inflammatory breast carcinoma: a community hospital experience.
16	English	Is treatment of the alcohol-abstinence syndrome with alcohol administration sensible? Additions to the article by K. A. Koelsch "Alcohol disease from the viewpoint of the internist", Vol 71 (1977), issue 10, page 484-487, this journal
20	English	Kinetic light scattering studies on the dissociation of hemoglobin from Lumbricus terrestris.
12	English	The effect of amniotic fluid on bacteria

To: Administrator (Private) ☒

Topへ戻る

図 4.23. アイテムの移譲 2

確認画面で実行ボタンを押すと権限が移譲されます。

XooNlps 設定 == メンテナンス == アイテム管理 == アイテムの移譲の確認

アイテムの委譲の確認

下記のアイテムも参照します。本欄に実行しますか？

From: ユーザー: akazawa インデックス名: /Private/paper

ID	アイテムタイプ	タイトル
11	English	Destructive electrophoretic patterns of Esterases from Levisia malonatica, Levisia amalontica and Citrobacter.
12	English	The effect of amniotic fluid on bacteria
14	English	Inflammatory breast carcinoma: a community hospital experience.
16	English	Is treatment of the alcohol-abstinence syndrome with alcohol administration sensible? Additions to the article by K. A. Koelsch "Alcohol disease from the viewpoint of the internist", Vol 71 (1977), issue 10, page 484-487, this journal
20	English	Kinetic light scattering studies on the dissociation of hemoglobin from Lumbricus terrestris.
36	Book	book title test

To: ユーザー: Administrator インデックス名: /Private

Topへ戻る

図 4.24. アイテムの移譲 3

4.2.4. ユーザ表示順

表示順の項目に職名内での表示順を設定して更新ボタンを押すことによって変更が反映されます。

表示順が 0 未満ならそのユーザーは表示されません。

ここでの表示順設定は職名内でのみ有効となります。

XooNlps 設定 == メンテナンス == ユーザ表示順

ユーザ表示順

ユーザー一覧画面に表示される職名別ユーザー一覧の表示順序をカスタマイズします。表示順が 0 未満ならそのユーザーは画面に表示されません。

職名 [ユーザー名]	表示順
Assistant [yoshihiro okumura]	1
Assistant [ryo shihone]	2
Assistant [akazawa fumihiro]	3

Topへ戻る

図 4.25. ユーザ表示順

表示結果はホームページの XooNlps メニューのユーザー一覧から確認出来ます。

Neuroinformatics Base Platform System

XooNlps

RIKEN Brain Science Institute

Home News Forum Listing Item Edit Private Tree Add New Item

メインメニュー

ホーム

XooNlps

フォーラム

XooNlps 検索

全て

検索

登録情報

インデックススクリプト

open all close all

ユーザー一覧

ユーザー名をクリック

職名内での表示順を決められ、0 未満は表示されない

Assistant

ryo shihone

akazawa fumihiro

グループ一覧

イベント通知情報

お知らせ

アイテム一覧

プライベートツリー編集

インポート

ログアウト

図 4.26. ユーザ表示順 2

4.2.5. ランキング

アクセスランキングの集計値はイベントログから自動生成されます。

アクセスランキング情報ファイルのアップロード、ダウンロードや数値のリセットが出来ます。

サイトを引っ越しする際などにアップロードの項目からランキングファイルをアップロードすることで、数値を継続した集計が可能になります。

図 4.27. ランキング

4.2.6. ファイル検索

ファイル検索用のインデックスの確認ができます

- 検索プラグイン

インストールされて利用可能なファイル検索プラグインの一覧を表示します。

- 全ファイルの再スキャン

プラグインのバージョンが上がった際には再スキャンボタンを押すと、ファイル検索用インデックスの再構築をします。

図 4.28. ファイル検索

4.2.7. OAI-PMH

OAI-PMH のハーベスト実行と結果の確認が出来ます。

ティップ

メタデータのハーベストが必要な都度手動で実行する必要があります。

- リポジトリ URL 変更

リポジトリ URL の設定画面に遷移して、編集が出来ます。

- 最新の実行結果

前回の実行結果を表示します。

- ハーベスト実行

ハーベストするボタンを押すと、直ちにハーベストを実行します。



図 4.29. OAI-PMH

第 5 章 XooNips の操作

実際に XooNips を利用する際に必要な操作を解説します

画面デザインは XOOPS のテーマを利用することで容易に変更することが出来ます。

5.1. ゲスト

ゲスト時の操作説明

5.1.1. 公開情報の検索・閲覧

ゲスト時は Public に登録されているアイテムの検索と閲覧が出来ます

インデックスツリー・アイテムタイプをクリックすることで一覧表示されます。

キーワード検索ボックスではアイテムタイプを指定しての検索や、メタデータの検索も選択することが出来ます。

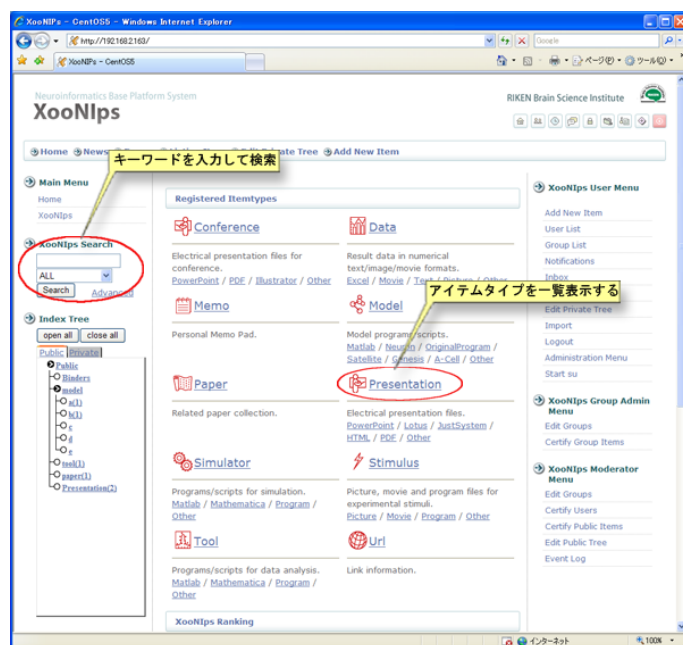


図 5.1. ファイル検索

並び順の項目で並べ替えが出来ます。アイテムタイプによって並べ替えの条件は異なる場合があります。

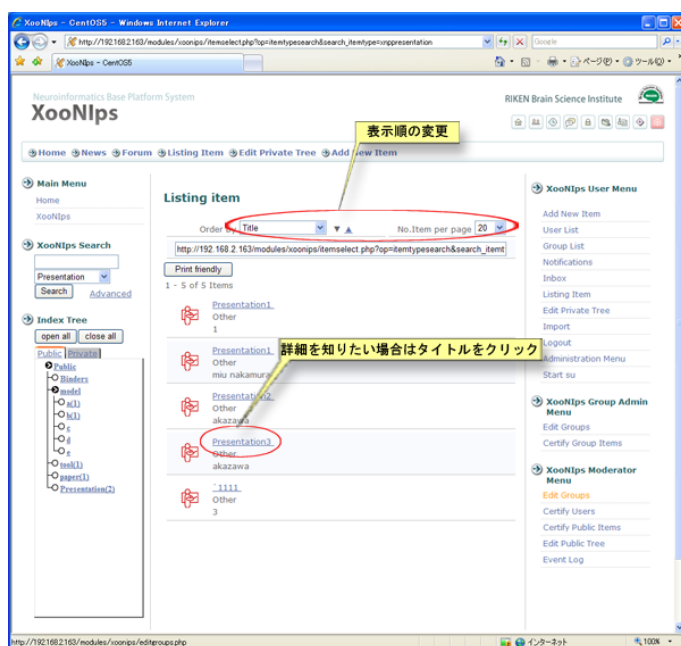


図 5.2. 検索結果

詳細画面では登録者がゲストユーザーにもダウンロードを許可している場合のみダウンロードボタンが表示されます。

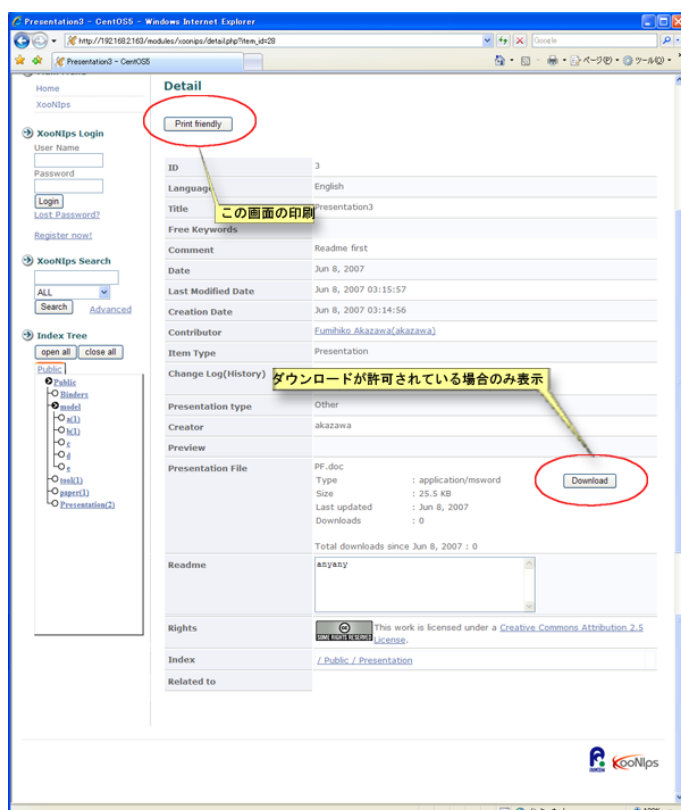


図 5.3. 詳細結果

ライセンス条項に同意する場合のみダウンロードすることが可能です。

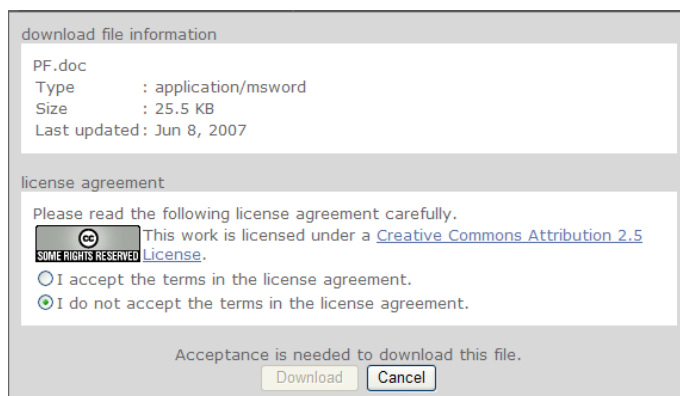


図 5.4. ライセンス条項確認

5.1.2. 公開情報の詳細検索

アイテムタイプ毎にさらに条件を詳しく設定して検索することが出来ます。

XooNips 検索ボックスの横にある詳細検索のリンクをクリックします。

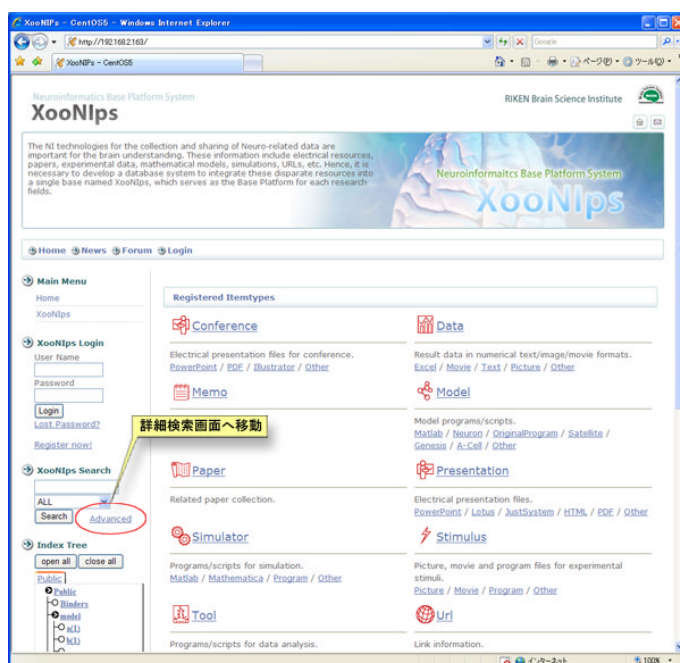


図 5.5. 詳細検索

検索したいアイテムタイプにチェックを入れると検索条件が指定できます。画面上下に設置されている検索ボタンを押すと検索が実行されます。

複数のアイテムタイプにチェックを入れての検索も可能です。

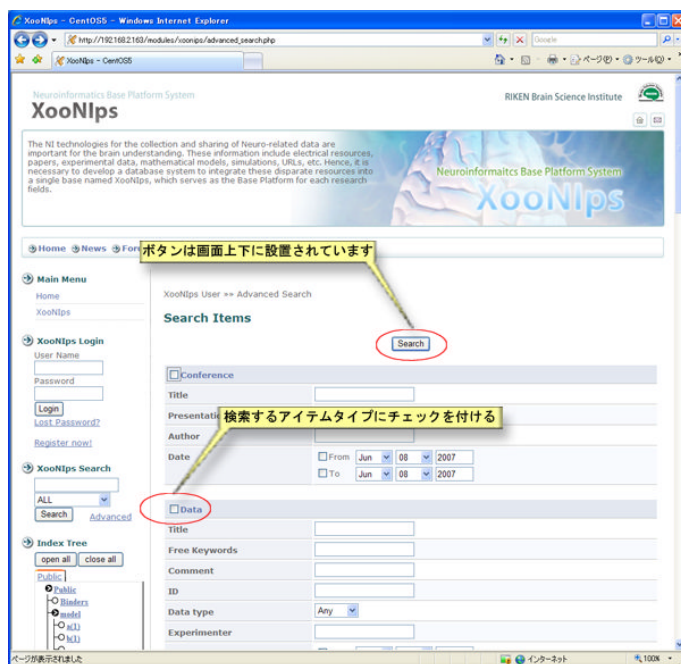


図 5.6. 詳細検索 2

5.1.3. ランキング情報の閲覧

アクセスランキングの情報からリンクをクリックすれば、アイテムや研究者情報に直接アクセスすることが出来ます。

ゲストへのランキング表示許可設定がされていない場合には表示されません。

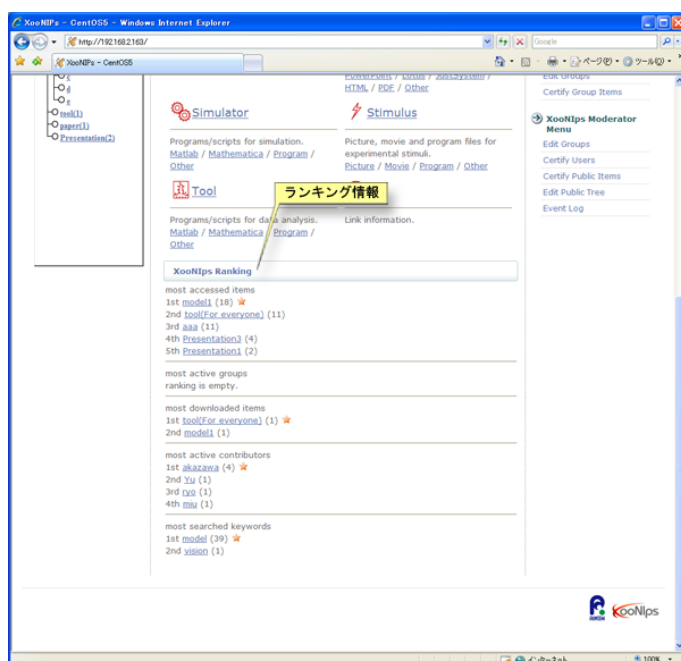


図 5.7. ランキング情報

5.1.4. サイト入会・登録

新規ユーザー登録の概要を説明します。

5.1.4.1. サイト登録の流れ

XooNips の機能を利用出来るようになるにはユーザー登録の他にモデレーターによる承認が必要です。

ティップ

サイトポリシーの設定により自動で承認される場合もあります。

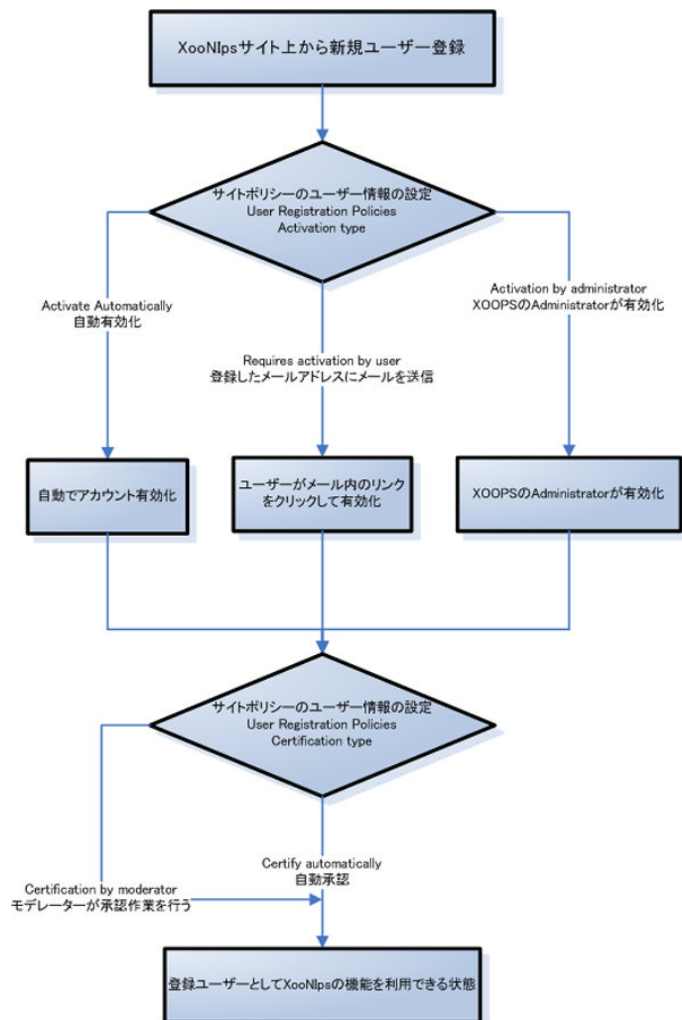


図 5.8. 登録の流れ

5.1.4.2. 登録の手順

新規登録のリンクをクリックします。

ティップ

サイトのデザインによってこの位置にあるとは限りません。

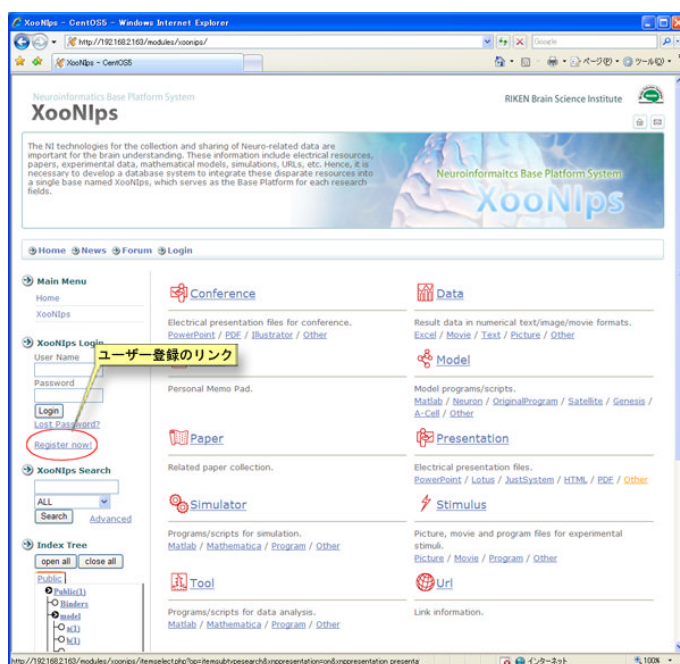


図 5.9. 新規入会

必要事項に情報を入力して登録を行ってください。

サイトポリシーで必須入力とされている項目には*が付いています。

サイトポリシーの設定によっては登録作業後にモデレーターの承認が必要となります。

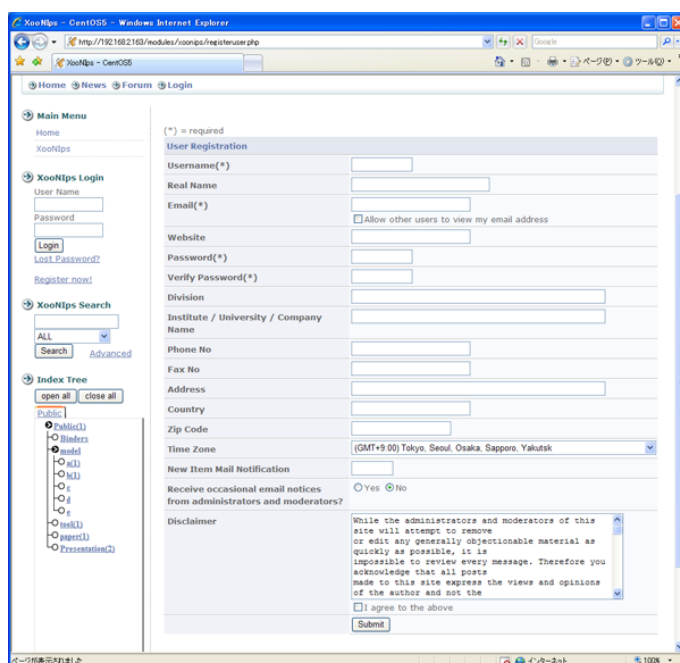


図 5.10. 新規登録

5.2. ユーザー

登録ユーザー時の操作

5.2.1. ログイン

ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。

ティップ

サイトのレイアウトによってはこの位置にあるとは限りません。



図 5.11. ログイン

5.2.2. ログアウト

Logout のリンクやログアウトのボタンをクリックしてログアウトしてください。

ティップ

サイトのレイアウトによってはこの位置にあるとは限りません。

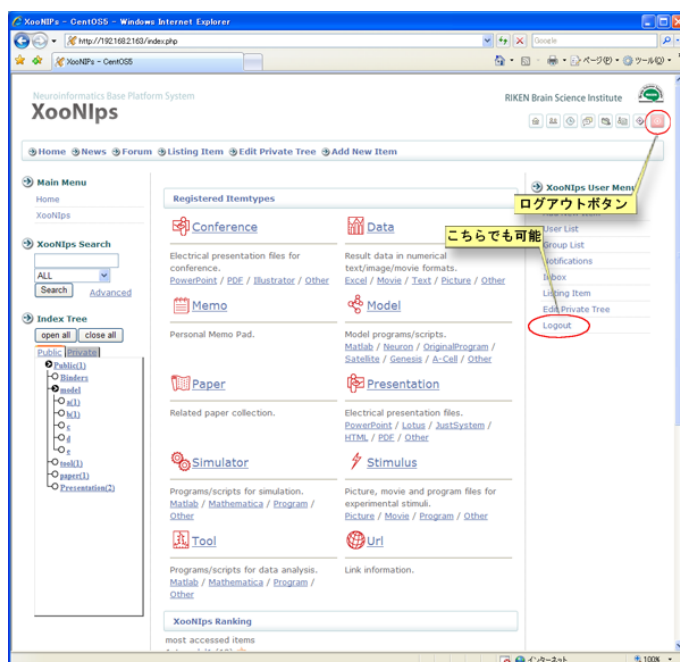


図 5.12. ログアウト

5.2.3. プライベートインデックスツリー編集

アイテムを管理する個人領域のインデックスツリーの編集が出来ます。

XooNips User Menu のプライベートツリー編集のリンクをクリックします。

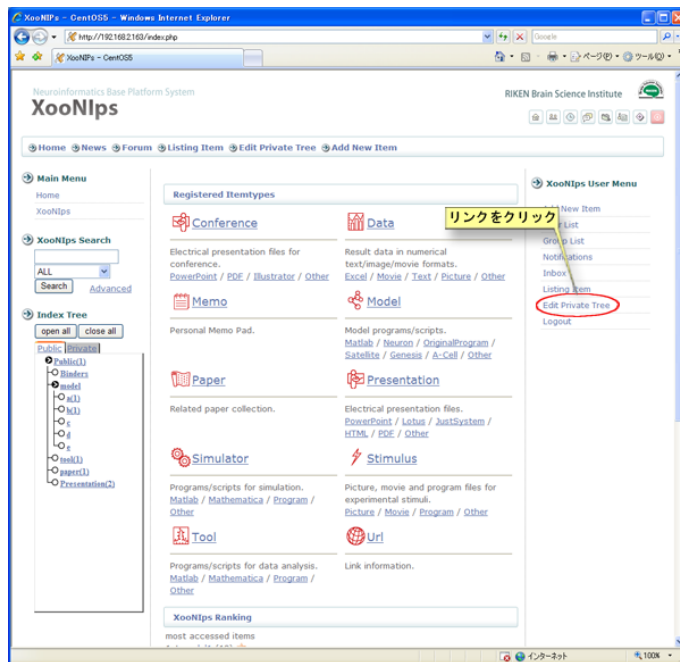


図 5.13. プライベートツリー編集

1. Keyword の新規登録

New Index Keyword に作成したい Keyword を入力して登録ボタンを押します。

XooNips User >> Edit Private Tree

Edit Index Keyword

/ Private

Add

Number of Private Indexes: 1 (max=50)

New Index Keyword

tool

register

[Listing item](#) | [Home](#)

図 5.14. プライベートツリー編集

Private ツリーの直下に登録されます。



図 5.15. プライベートインデックスへの Keyword 新規登録

2. Keyword の変更

登録した Keyword は修正することが出来ます。

操作したい Keyword のチェックを入れた後、新しい Keyword を入力して改名ボタンを押します。

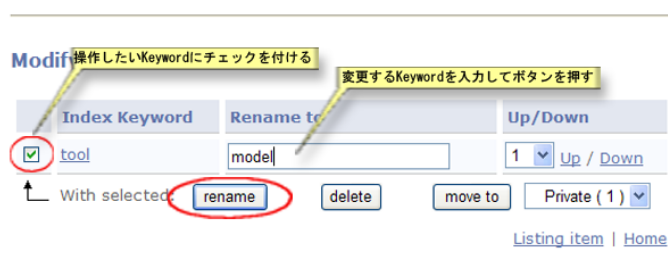


図 5.16. Keyword の変更

keyword[tool]が[model]に変更されています。



図 5.17. Keyword 変更後の Index

3. Keyword の削除

削除したい Keyword にチェックを入れた後、削除ボタンを押します。



図 5.18. Keyword の削除



図 5.19. Keyword の削除後の Index

4. Keyword の表示順の変更

Keyword の表示順の変更が出来ます。

上へ/下への左にあるドロップダウンリストで 1 ~ 10 までの数を指定しての移動も可能です。

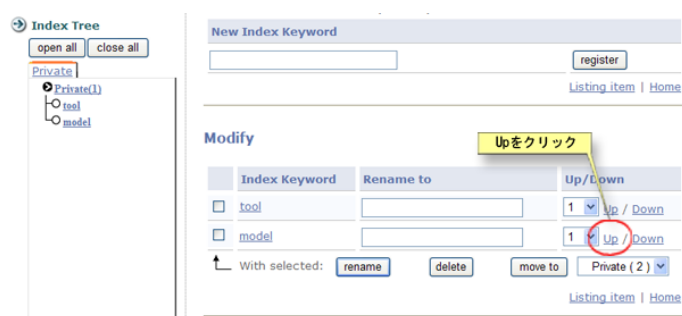


図 5.20. Keyword の表示順変更

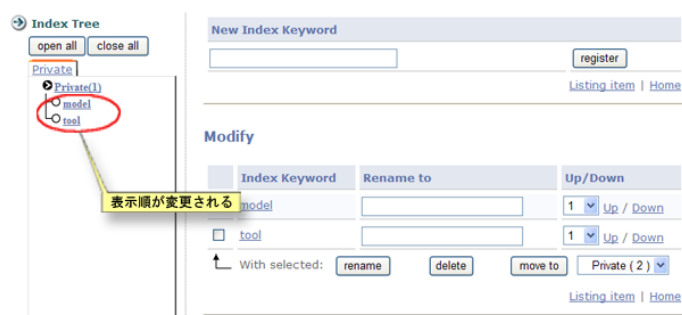


図 5.21. Keyword 表示順変更後の Index

5. Keyword の移動

Keyword の移動が出来ます。

次へ移動ボタンの右にあるドロップダウンリストで移動先を選択後、ボタンを押します。

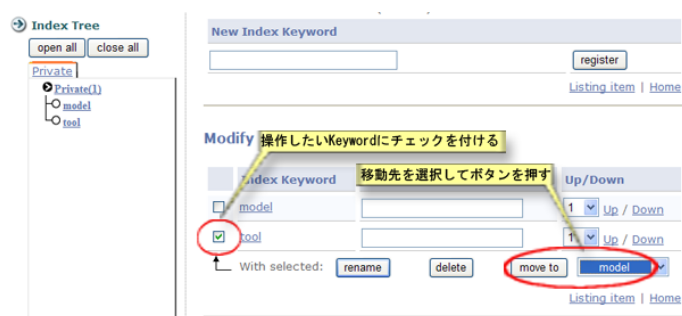


図 5.22. Keyword の移動

移動の確認は Index Tree の上にある open all ボタンを押します。



図 5.23. Keyword 移動の確認

Keyword[tool]が[model]の下に移動している事が確認出来ます。



図 5.24. Keyword 移動後の Index

5.2.4. アイテム管理

5.2.4.1. アイテム登録

アイテムの登録方法を説明します。

XooNips User Menu から新規アイテム登録のリンクをクリックします。

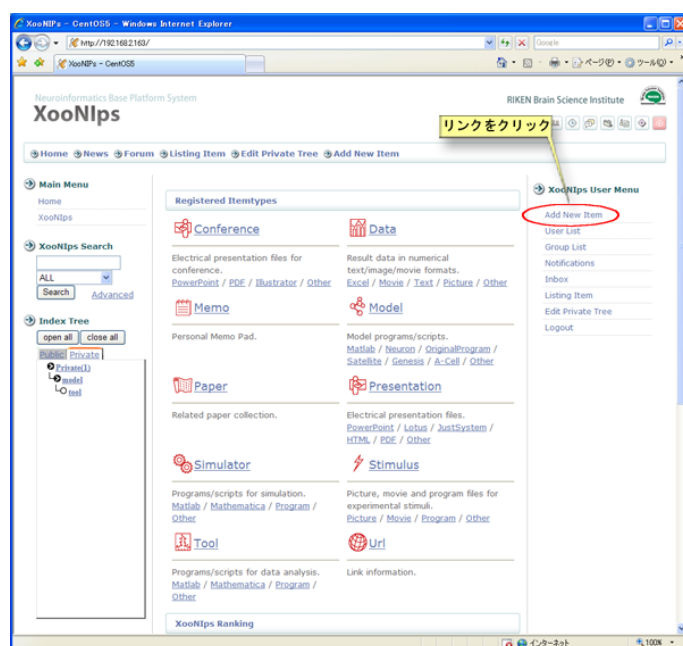


図 5.25. アイテムの新規登録

画面中央のドロップダウンリストから登録したいアイテムタイプを選択します。

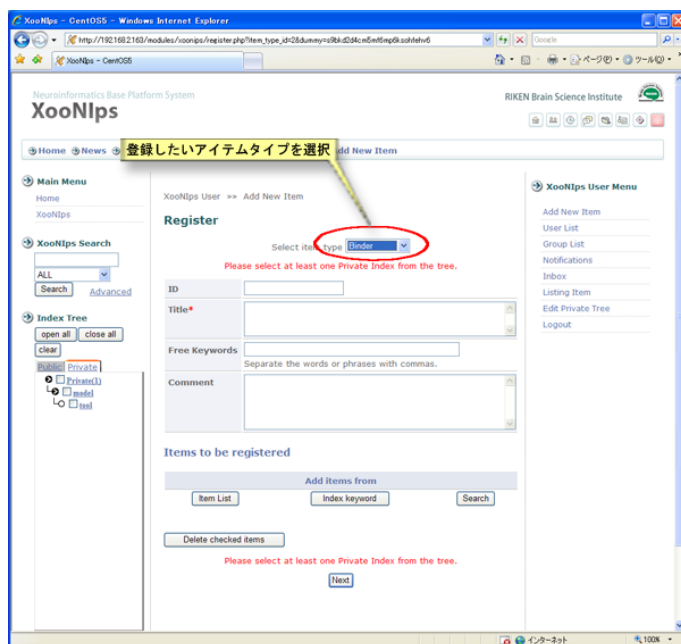


図 5.26. 新規登録アイテムタイプの選択

アイテムタイプを選ぶと登録画面が表示されます。

少なくとも一つの登録したい Private index keyword にチェックを付けます。

赤色の * は必須入力項目です。

ID の項目は XooNips 内で固有の一意の値である必要があります。ID が重複する場合はエラーとなります。

The screenshot shows the 'Register' form for XooNips. On the left, the 'Index Tree' has a red circle around the 'test' item, with a yellow callout '登録したいKeywordにチェック' (Check the keyword you want to register). The main form fields include: ID (123), Language (English), Title (tool for XooNips), Free Keywords (XooNips tools), Comment (for XooNips user), Date (Jun 10 2007), Tool type (Program), and a preview section. The 'Download Limitation' section has a yellow callout '別ウィンドウが開く' (A separate window opens). The 'Rights' section has a yellow callout '別ウィンドウが開く' (A separate window opens). The 'Index' section has a yellow callout '別ウィンドウが開く' (A separate window opens). At the bottom, a red circle around the 'Next' button has a yellow callout '確認画面へ移行' (Move to confirmation screen). A yellow callout '別ウィンドウで検索したItemIDをここに入力する' (Input the ItemID searched in a separate window here) points to the 'Related to' field.

図 5.27. アイテムの登録(TOOL)

- ダウンロード制限

このアイテムをダウンロードできるユーザーをログインユーザーに限定するか、ゲストも含めた全てのユーザーにダウンロードを許可するかを選択します。

- ダウンロード通知

上記オプションでログインユーザーを選択した場合のみ有効なオプションとなります。

通知の設定はサイトのシステム設定に依存します。

- Readme 入力ウィンドウ

Readme の編集リンクをクリックすると、別のウィンドウが開きます。ファイルを指定して更新ボタンを押すか、テキストボックスへの直接入力後 OK ボタンを押すと登録画面に反映されます



図 5.28. Readme の入力

- Rights

Creative Commons ライセンスの設定が出来ます。編集のリンクをクリックすると別ウィンドウが開きますので、独自のライセンスを設定することも可能です。

Rights 入力ウィンドウ

Rights の Edit リンクをクリックすると、別のウィンドウが開きます。ファイルをの指定して更新ボタンを押すか、テキストボックスへの直接入力後 OK を押すと登録画面に反映されます。

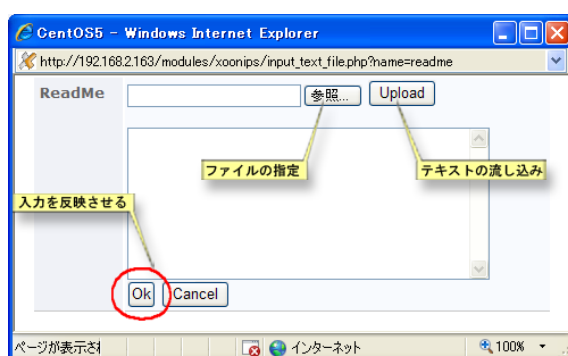


図 5.29. Rights の入力

- 関連アイテム

関連するアイテムを指定することが出来ます。

ティップ

関連するアイテムはアイテム ID で指定します。この ID はシステムが自動で割り振る数値で、アイテム登録の際に入力する ID の項目とは違います。

アイテムを探す（新しいウィンドウ）のボタンを押すと別ウィンドウが開いて、アイテムの検索をすることが出来ます。

関連アイテム検索ウィンドウ

関連アイテムのアイテムを探すボタンをクリックすると関連したアイテムを検索するための別ウィンドウが開きます。

Index Tree や XooNips 検索を使って関連するアイテムのアイテム ID を調べることが出来ます。

ティップ

この画面は検索のみでアイテム ID の入力はできません。実際の入力は登録画面に戻って行います。

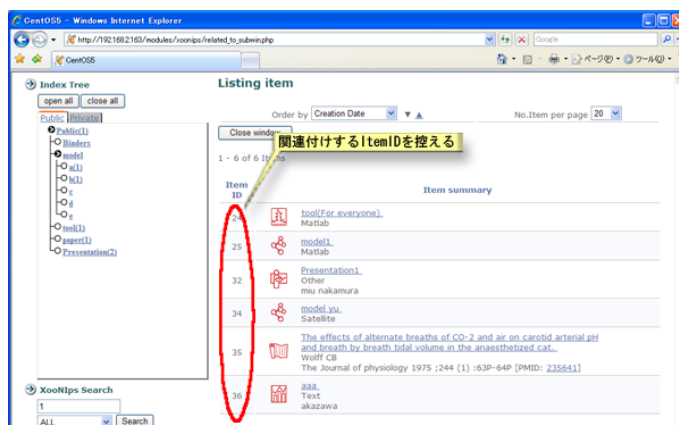


図 5.30. 関連アイテムの検索

登録画面で次へボタンを押すと入力した情報の確認画面が表示されます。更に登録ボタンを押すとアイテムが登録出来ます。

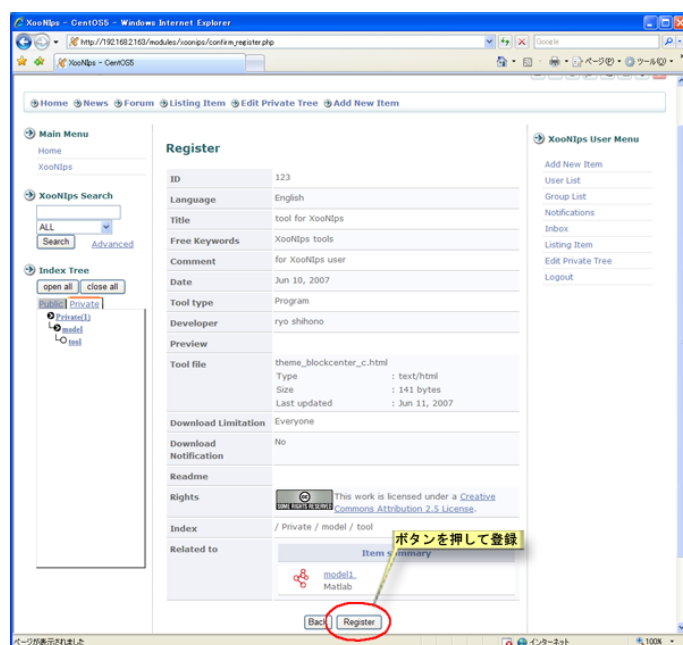


図 5.31. アイテム登録確認

5.2.4.2. アイテムの編集

Index Tree や XooNips 検索を利用して編集したいアイテムの詳細画面を表示させます。

Detail

ID	123
Language	English
Title	tool for XooNips
Free Keywords	XooNips tools
Comment	for XooNips user
Date	Jun 10, 2007
Last Modified Date	Jun 11, 2007 01:09:21
Creation Date	Jun 11, 2007 01:09:21

図 5.32. アイテム詳細

編集画面が表示されますので、項目を修正して更新ボタンを押して情報を反映させます。

Modify

Number of Items: 1 / 100
Storage of Items: 0.00MB / 1000.00MB

ID	123
Language	English
Title*	common tools for XooNips
Free Keywords	XooNips tools <small>Separate the words or phrases with commas.</small>
Comment	for XooNips user
Date	Jun 10 2007
Last Modified Date	Jun 11, 2007 01:09:21

☐ [Item summary](#)

☒ [Matlab](#)

図 5.33. アイテム修正

詳細画面では変更履歴が表示されます。

Detail

ID	123
Language	English
Title	common tools for XooNips
Free Keywords	XooNips tools
Comment	for XooNips user
Date	Jun 10, 2007
Last Modified Date	Jun 11, 2007 02:25:32
Creation Date	Jun 11, 2007 01:09:21

タイトルが修正される

図 5.34. アイテム更新履歴

5.2.4.3. アイテム削除

アイテムの削除

Index Tree や XooNips 検索を利用して削除したいアイテムの詳細画面を表示させます。

削除ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されますのではいを選択して削除します。

Detail

ID	123
Language	English
Title	common tools for XooNips
Free Keywords	XooNips tools
Comment	for XooNips user
Date	Jun 10, 2007
Last Modified Date	Jun 11, 2007 02:25:32
Creation Date	Jun 11, 2007 01:09:21

アイテム削除ボタン

図 5.35. アイテム削除

5.2.4.4. Binder アイテムタイプについて

Binder は他のアイテムを一つにまとめて管理することが出来るアイテムタイプです。

Binder に登録するアイテムを指定する方法は以下の 3 通りです。

- アイテム一覧

アイテムの一覧から選択します。

- インデックスキーワード

Index Tree を利用して Binder に登録するアイテムを選択します。

- 検索

詳細検索を利用して Binder に登録するアイテムを選択します。



図 5.36. Binder 登録画面

1. アイテム一覧での選択

登録可能なアイテム(Public Index に登録されているアイテムとユーザーの Private Index に登録されているアイテム)の一覧から選択します。

登録するアイテムにチェックを付けた後、選択するボタンを押して確定します。

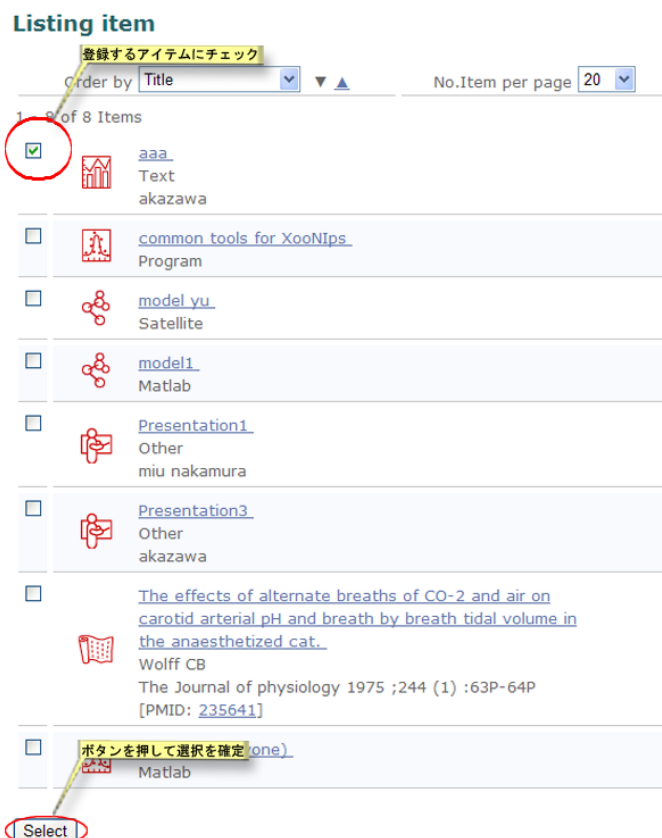


図 5.37. Binder 登録画面アイテム一覧

2. インデックスキーワードでの選択

ドロップダウンリストでアイテム一覧を表示して、Binder に登録するアイテムを選択します。

登録するアイテムにチェックを付けた後、選択するボタンを押して確定します。

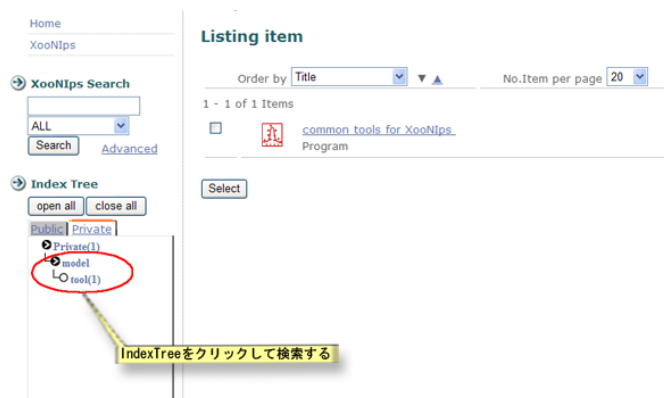


図 5.38. Binder 登録画面インデックスキーワード

3. 検索での選択

詳細検索画面が表示されますので、通常の詳細検索と同様に Binder に登録したいアイテムを検索します。

登録するアイテムにチェックを付けた後、選択するボタンを押して確定します。

次へボタンを押して登録します。

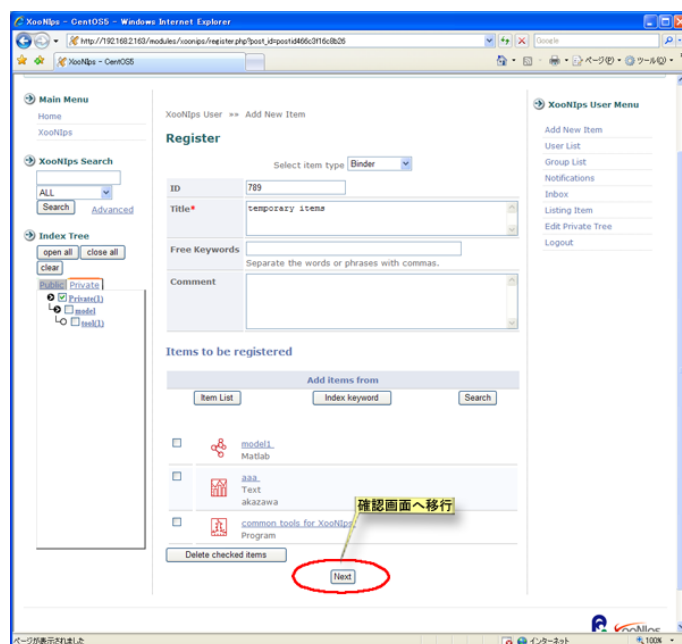


図 5.39. Binder 登録確認画面

5.2.4.5. Paper アイテムタイプの登録

Paper アイテムの登録画面には PubMedID の項目があります。PubMedID がわかっている場合には PubMedID を入力して Complete ボタンを押すとその他の情報が自動で補完されます。

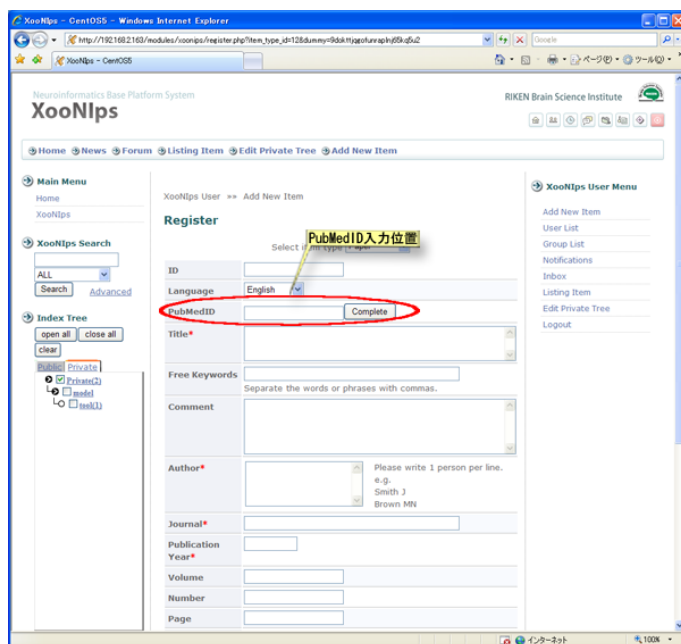


図 5.40. Paper 登録画面

5.2.4.6. Book アイテムタイプの登録

Book アイテムの登録画面には ISBN コードの項目があります。ISBN コード(10 桁又は 13 桁)がわかっている場合には ISBN コード(10 桁又は 13 桁)を入力して Complete ボタンを押すとその他の情報が自動で補完されます。その際の URL には amazon の書籍情報詳細ページが補完されます。

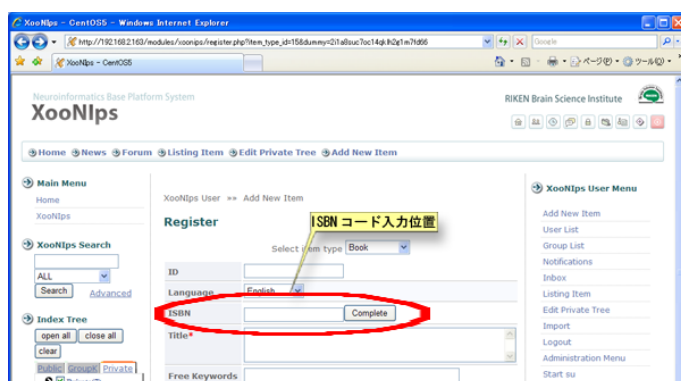


図 5.41. Book 登録画面

5.2.5. アイテムの公開

アイテムを Public 領域に登録するためにはサイトポリシーの設定によってモデレーターの審査・承認が必要な場合があります。

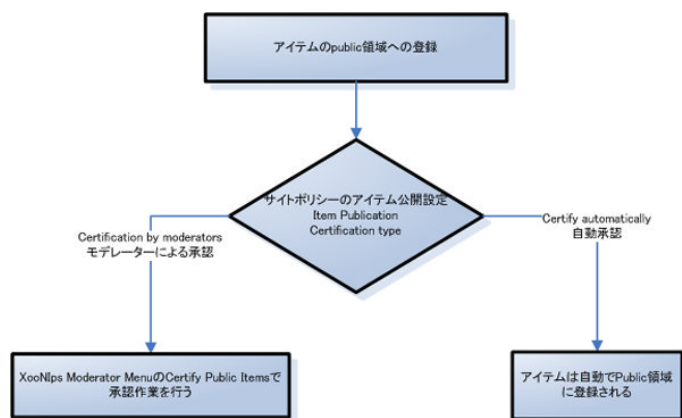


図 5.42. アイテム公開フロー

5.2.5.1. アイテムの公開

Public 領域に登録して公開したいアイテムを Index Tree や XooNIps 検索で検索して、詳細画面を表示します。

公開領域に追加の欄あるドロップダウンリストから登録したい Public 領域の Index keyword を選択して、追加ボタンを押します。

Detail

Modify Delete Print friendly

ID	256
Language	English
Item	common tools for xoonips
Rights	This work is licensed under a Creative Commons Attribution 2.5 License .
Index	/ Private / model / tool
Related to	

Add to public index

tool Submit

図 5.43. 公開アイテム登録画面

サイトポリシーの設定によってはモデレーターの審査・承認が必要ですので、Public 領域に直ぐに登録されるとは限りません。

Listing item

/ Public / tool Add item Print friendly

Order by Title No.Item per page 20

1 - 2 of 2 Items

承認待ち(Pending)と表示される

	common tools for XooNIps Program	(Pending)
	tool(For everyone) Matlab	

図 5.44. 公開アイテム確認画面

5.2.6. グループ

XooNips では登録ユーザーでグループを作ることができます。

グループにはグループ内で情報を共有できる領域が与えられます。

5.2.6.1. グループに参加

XooNips に登録されているグループを検索します。

グループ管理者となっているユーザーにグループに追加してもらうよう、メールや PM(Private Message)で連絡を取ります。

グループへのユーザー追加登録作業は、グループ管理者またはモデレーターが行います。

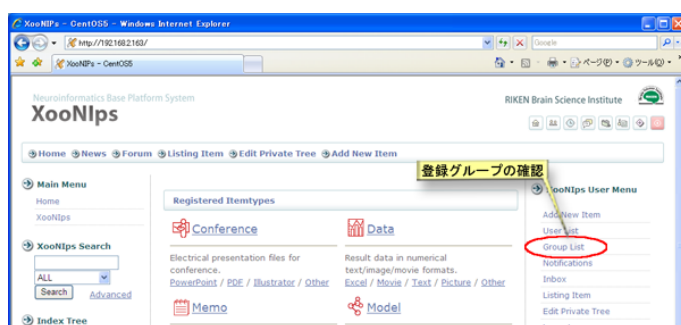


図 5.45. 登録グループの確認

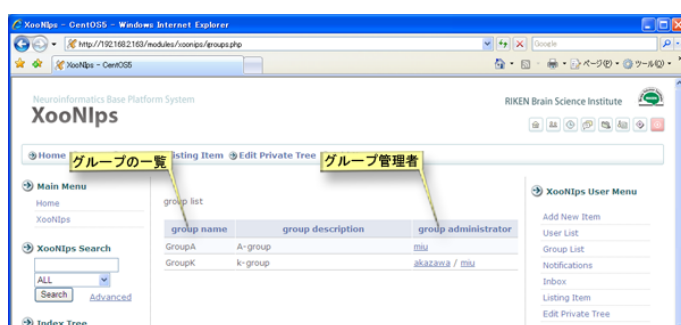


図 5.46. 登録グループの確認 2

グループに参加すると、所属グループのタブが Index Tree に表示されます。

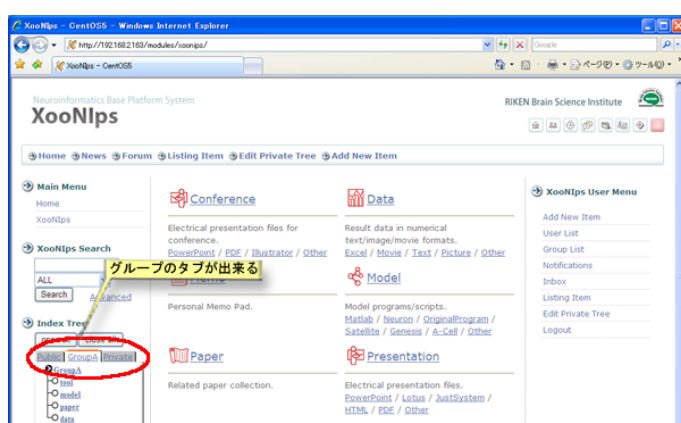


図 5.47. 所属グループのタブ

5.2.6.2. グループ Index へのアイテム登録

ユーザーが Private 領域に登録しているアイテムをグループ Index に登録することができます。

登録したいグループのタブで Index Keyword をクリックします。

アイテム検索画面が表示されますので、登録するアイテムを検索してください。

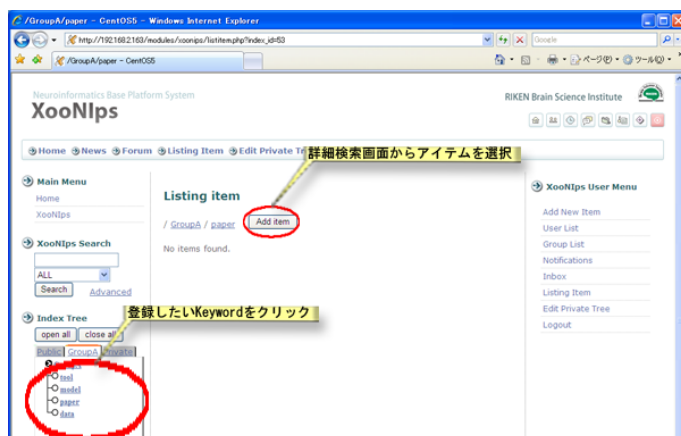


図 5.48. グループ Index への登録

グループ Index へ登録するアイテムにチェックを付けます。

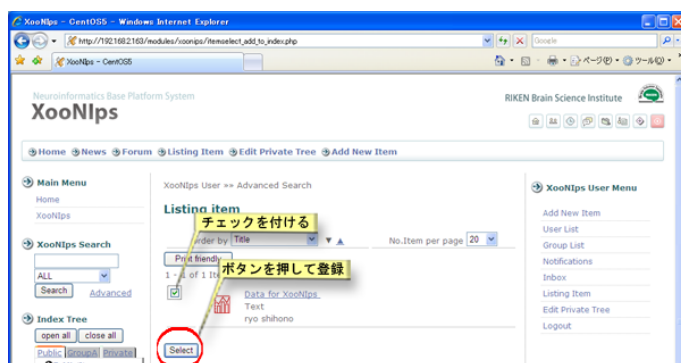


図 5.49. グループ Index への登録 2

グループ管理者、またはモデレーターの審査・承認が完了するまで他のユーザーからはアイテムは見る事が出来ません。

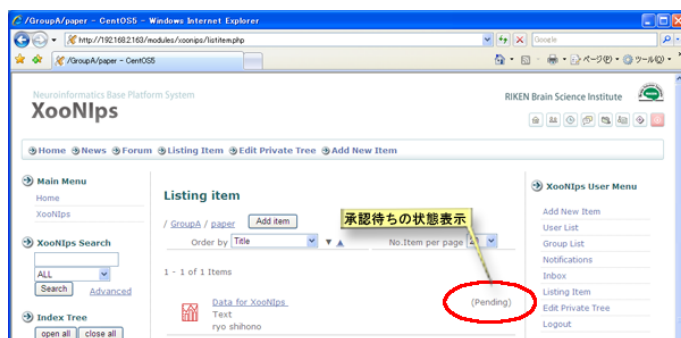


図 5.50. グループ Index への登録 3

5.2.6.3. グループからの退会

グループから退会する場合は参加の場合と同様に、グループ管理者がモデレーターに連絡を取ってください。
ユーザーのグループからの退会処理はグループ管理者、またはモデレーターが行います。

5.2.7. アイテム移譲

アイテムの編集権限はそのアイテムを登録したユーザにあります。

ユーザが退会する場合などにアイテムの編集権限を他のユーザに移譲することができます。

- 編集権限を移譲するユーザの操作

XooNips ユーザメニューのアイテム移譲要求のリンクをクリックします。

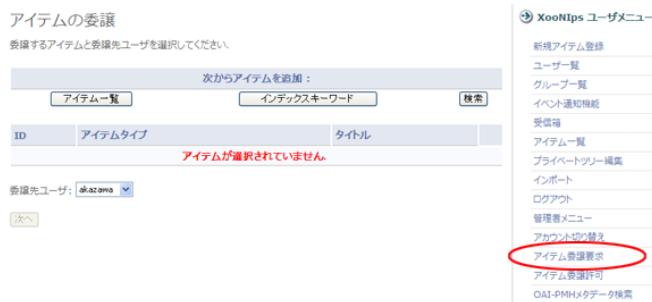


図 5.51. アイテム移譲要求

次からアイテムを追加の欄にある検索などで編集権限を移譲するアイテムを検索して選択します。



図 5.52. アイテム移譲要求 2

ドロップダウンリストで権限を移譲するユーザを選択して次へボタンを押します。



図 5.53. アイテム移譲要求 3

確認画面が表示されるので移譲の実行ボタンを押します。



図 5.54. アイテム移譲要求 4

- 編集権限を移譲されるユーザの操作

XooNips ユーザメニューのアイテム移譲許可リンクをクリックします。

ドロップダウンリストから編集権限を移譲されたアイテムを登録する Index Tree Keyword を選択して移譲許可ボタンを押します。



図 5.55. アイテム移譲許可

5.3. グループ管理者

グループ管理者が出来ることの説明です。

5.3.1. グループメンバー管理

XooNips グループメニューのグループメンバー編集をクリックします。

サイトのデザインによってはこの位置にあるとは限りません。

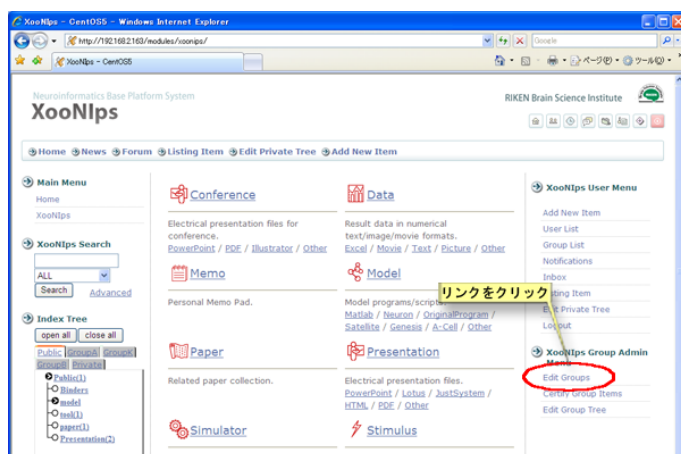


図 5.56. グループメンバーの追加・削除

複数のグループ管理者の権限を持っている場合は更にメンバーの追加・削除を行うグループ名をクリックします。

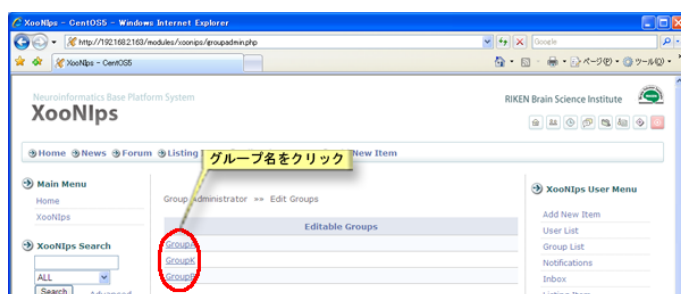


図 5.57. グループメンバーの追加・削除 2

5.3.1.1. メンバーの追加

非メンバーのリストからユーザーを選択して、追加ボタンを押してメンバーに追加します。

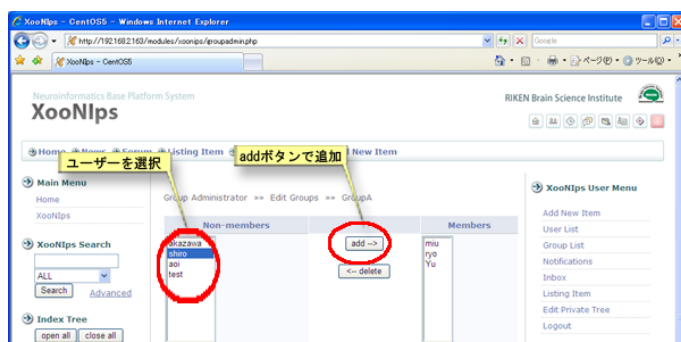


図 5.58. グループメンバーの追加

5.3.1.2. メンバーの削除

メンバーのリストからユーザーを選択して、削除ボタンを押してメンバーから削除します。

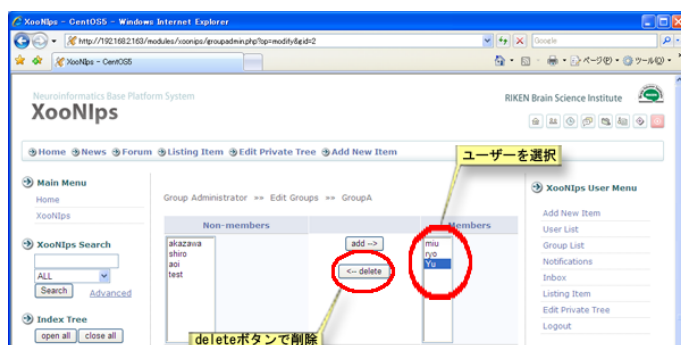


図 5.59. グループメンバーの削除

5.3.2. 共有アイテムの審査・承認

グループで共有するアイテムの審査・承認をします。

XooNips グループメニューのグループ共有アイテム承認をクリックします。

ティップ

グループ Index Tree や検索を使ってアイテムの詳細画面から審査・承認をすることも出来ます。

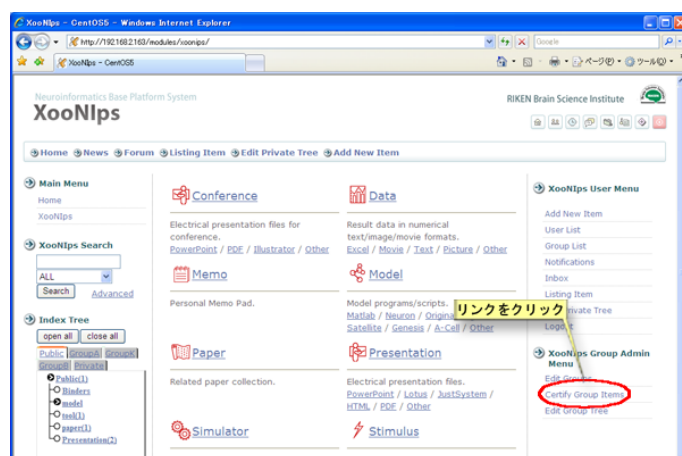


図 5.60. グループ共有アイテムの審査・承認

インデックスの欄にチェックを付けて Accept(承認)または Reject(取り下げ)のボタンを押して、アイテムの公開を承認・却下といった、審査が出来ます。

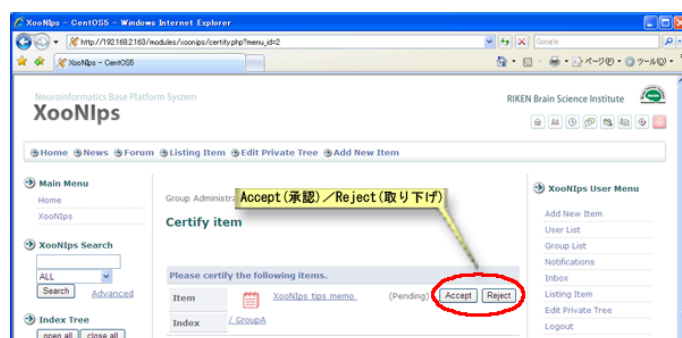


図 5.61. グループ共有アイテムの審査・承認 2

5.3.3. 共有アイテムの取り下げ

グループ Index へ登録済みのアイテムを共有領域から取り下げることが出来ます。

グループ Index Tree や検索を利用して取り下げたいアイテムの詳細画面を表示します。

Index の項目の Withdraw ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されますので OK を押してアイテムの共有を取り下げます。

Detail

Print friendly	
ID	455
Language	English
Title	XooNips tips memo
Free Keywords	
Comment	
Last Modified Date	Jun 11, 2007 14:57:26
Creation Date	Jun 11, 2007 13:13:16
Contributor	ryo_shihono(ryo)
Item Type	Memo
Change Log(History)	Jun 11, 2007 Modified; Index. Jun 11, 2007 Modified; Index.
Item Link	
Memo File	
Index	/ GroupA
Related to	

ボタンを押して取り下げ

Reject

図 5.62. グループ共有アイテムの取り下げ

5.3.4. グループ Index の編集

Private と同様の手順でグループ Index の Keyword も追加・削除など編集を行うことが出来ます。

XooNips グループメニューのグループツリー編集をクリックします。

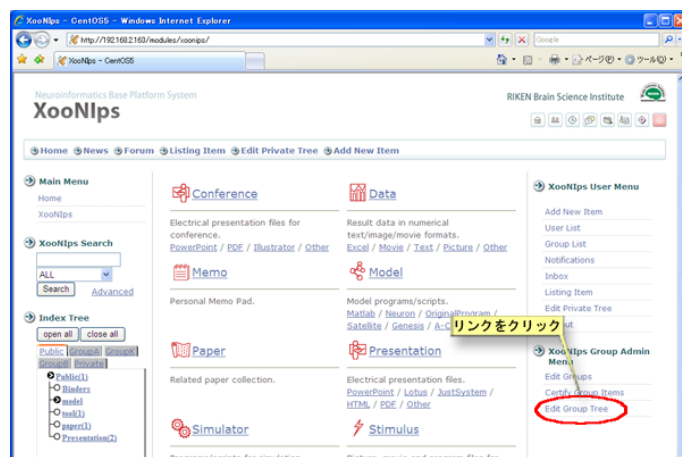


図 5.63. グループ Index の編集

複数のグループ管理者の権限を持っている場合は、複数のグループ IndexKeyword の編集が出来ます。

1. 編集したいグループ Index のタブをクリックします。
2. 編集したいグループ Index の Keyword をクリックします。
3. クリックしたグループ Index の編集が可能になります。



図 5.64. グループ Index の編集 2

5.3.5. グループ Index の公開

グループ Index に登録してあるアイテムを Keyword 単位で一括して PublicIndex に登録することが出来ます。

- グループ管理者

XooNips グループメニューのグループツリー編集メニューをクリックします。



図 5.65. グループ Index の一括公開

グループアイテム公開の欄で公開する Keyword にチェックをつけます。

PublicIndex の追加したい Keyword をドロップダウンリストから選択して追加ボタンを押します。



図 5.66. グループ Index の一括公開 2

- モデレータ

XooNIps モデレータメニューの公開グループアイテム承認リンクをクリックします。



図 5.67. グループ Index の一括公開 3

公開を承認または拒否するインデックスにチェックを付けます。

Accept(承認) または Reject (拒否) ボタンをおして公開を承認または拒否します。

5.3.6. グループ管理者の権限移譲

グループ管理の権限者はモデレーターが変更することが出来ますので、モデレーターと連絡を取ってください。

5.3.7. ディスク容量の変更について

モデレーターによってグループ毎に設定可能なので、モデレーターと連絡を取ってください。

5.3.8. グループの廃止

モデレーターによってグループの廃止が可能ですので、モデレーターと連絡を取ってください。

5.4. モデレーター

モデレーターとして出来ることの説明です。

5.4.1. Public Index Tree の編集

公開領域のインデックスツリーの編集です

XooNips モデレータメニューの公開ツリー編集のリンクをクリックします。

ティップ

サイトのデザインによっては、この位置にあるとは限りません。

Private と同様の手順で操作出来ます。

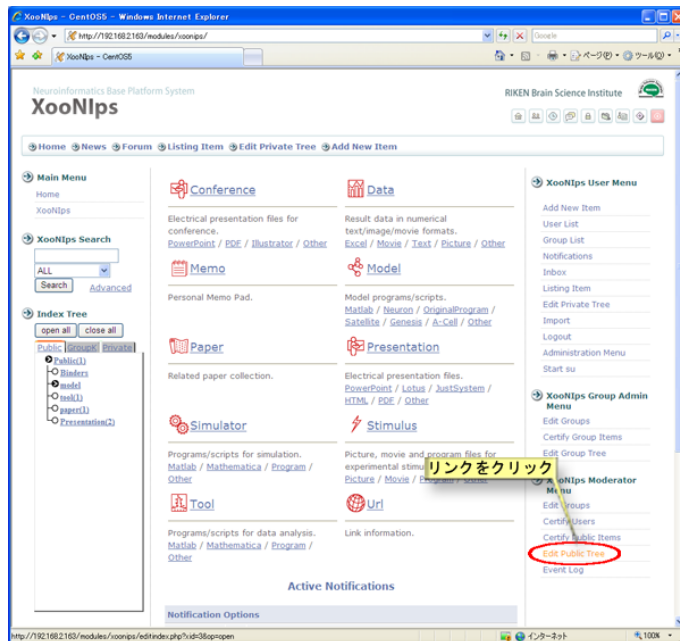


図 5.68. Public Index Tree の編集

5.4.2. ユーザーの承認

サイトポリシーの新規ユーザ登録方法の設定でアカウント承認の方法の項目がモデレータが確認してアカウントを承認する場合には登録ユーザーが XooNips の機能を利用できるようにするためにアカウントの承認をする必要があります。

XooNips モデレータメニューのユーザ承認のリンクをクリックします。

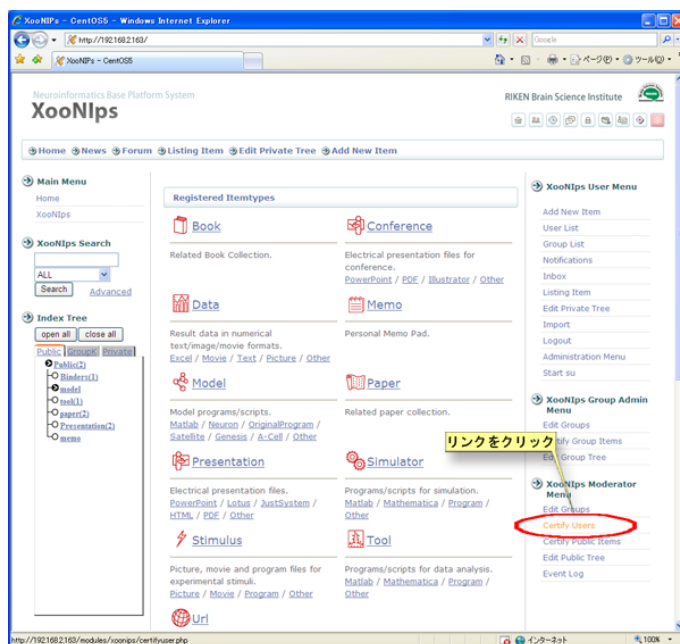


図 5.69. ユーザーの承認

リンクをクリックすることで以下の機能が実行されます。

- メールアドレス
メーラーが起動してそのメールアドレスにメールを送ることが出来ます。
- 詳細
ユーザーが登録した情報の詳細画面を表示します。
- 承認
ユーザーの承認又は拒否が出来ます。承認をしないとユーザーは XooNIps の機能を利用できません。

Moderator » » Certify Users

Certify Users

Username	Real Name	Email	detail	certify
rara	Rara Mizuhoshi	mail	detail	certify
riri	Riri Kinboshi	mail	detail	certify

リンクをクリックして承認

図 5.70. ユーザーの承認 2

5.4.3. アイテムの審査・承認

Public 領域にアイテムを公開するかどうか、審査・承認が出来ます。

XooNIps モデレータメニューの公開アイテム承認のリンクをクリックします。

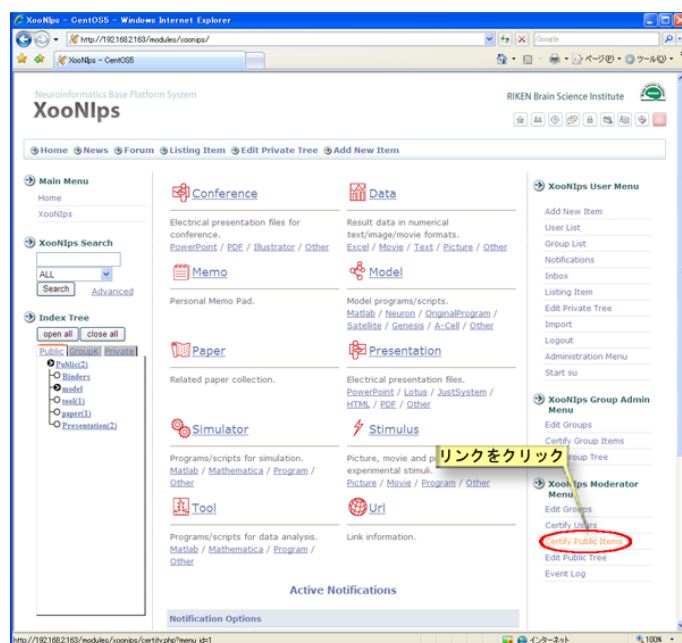


図 5.71. アイテムの審査・承認

Accept(承認) / Reject(取り下げ) のボタンを押すことで実行可能です。

モデレータ » 公開アイテム承認

アイテム承認

以下のアイテムを承認して下さい。




アイテム	 memo.memo	(Pending)
インデックス	<input type="checkbox"/> / Public	With selected: <input type="button" value="Accept"/> <input type="button" value="Reject"/>
アイテム	 test_model ryo	(Pending)
インデックス	<input type="checkbox"/> / Public / data	With selected: <input type="button" value="Accept"/> <input type="button" value="Reject"/>
アイテム	 xCube_tool Matlab	(Pending)
インデックス	<input checked="" type="checkbox"/> / Group-A	With selected: <input type="button" value="Accept"/> <input type="button" value="Reject"/>

図 5.72. アイテムの審査・承認 2

5.4.4. 公開アイテムの取り下げ

公開済みアイテムの公開取り下げをすることが出来ます。

Index Tree や検索を利用して公開を取り下げたいアイテムの詳細画面を表示させます。

Index の項目の Withdraw ボタンを押すと確認のダイアログが表示されますので OK を選択してアイテムの公開を取り下げます。

Detail

ID	455
Language	English
Title	XooNIps tips memo
Free Keywords	
Comment	
Last Modified Date	Jun 11, 2007 14:57:26
Creation Date	Jun 11, 2007 13:13:16
Contributor	ryo_shihono(ryo)
Item Type	Memo
Change Log(History)	Jun 11, 2007 Modified; Index. Jun 11, 2007 Modified; Index.
Item Link	
Memo File	
Index	/ GroupA
Related to	

ボタンを押して取り下げ

Reject

図 5.73. 公開アイテムの取り下げ

5.4.5. グループの作成と削除

グループの作成と削除が出来ます。

XooNIps モデレータメニューのグループ編集のリンクをクリックします。

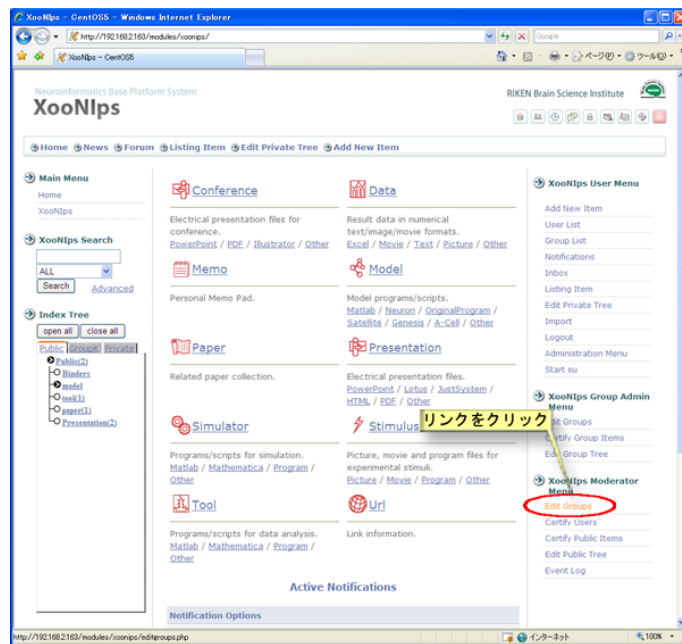


図 5.74. グループの作成・削除

5.4.5.1. 新規グループの作成・削除

1. 新規グループは、グループ作成の各項目に必要事項を入力して送信ボタンを押すことで作成できます。
 2. グループの削除は削除のリンクをクリックすると、確認のダイアログが表示されますので OK を選択して削除します。
- グループ名
グループの名前を入力します。
 - グループ詳細
グループの説明文を入力します。
 - グループ管理者
グループ管理者を選択します。複数人選択することも可能です。
 - 登録可能なアイテムの最大個数
グループ領域へのアイテム登録数上限値を入力します。
 - 登録可能なインデックスの最大個数
グループ Index の Keyword 数の上限値を入力します。
 - 登録可能なアイテムの最大ディスク容量[MB]
グループ領域で使用するデータ領域の最大値を MB 単位で入力します。

Moderator » Edit Groups

group name	group description	operation
GroupA	A-group	Edit / Delete
GroupK	k-group	Edit / Delete

create new group

(2) グループの削除

group name	GroupB
group description	B-group
group administrator	<div> akazawa shiro aoi miu ryo Yu test </div>
Maximum number of indexes	300
Maximum number of indexes	200
Maximum size of items[MB]	100.00
<div>(1) ボタンを押して登録</div> <div>Submit</div>	

図 5.75. グループの作成・削除

5.4.5.2. グループ情報の編集

情報を編集したいグループの右にある編集リンクをクリックします。

項目を修正した後、送信ボタンを押して情報を反映させます。

5.4.6. アクセスログ解析

XooNips が取得しているイベントログを CSV 形式ファイルでダウンロードしたり、グラフ化することができます。

XooNips モデレータメニューのイベントログのリンクをクリックします。

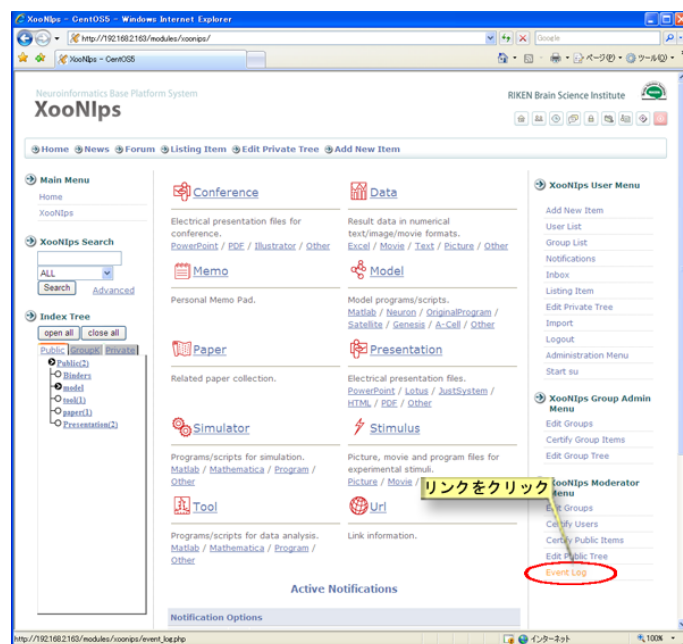


図 5.76. イベントログ解析

- イベントログダウンロード

イベントログのダウンロード

期間を指定して XooNIps のイベントログを CSV 形式ファイルでダウンロード出来ます。

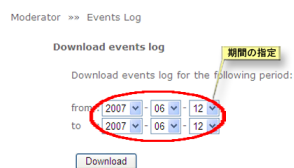


図 5.77. イベントログの期間指定ダウンロード

- イベント別

トップページのアクセス、アイテムへのアクセス、アイテムのダウンロード、新規ユーザーの登録とアイテム登録について期間を指定して CSV 形式ファイルでダウンロードするかグラフ化して表示することが出来ます。



図 5.78. イベントログ及びユーザ・アイテム一覧の個別ダウンロードとグラフ表示

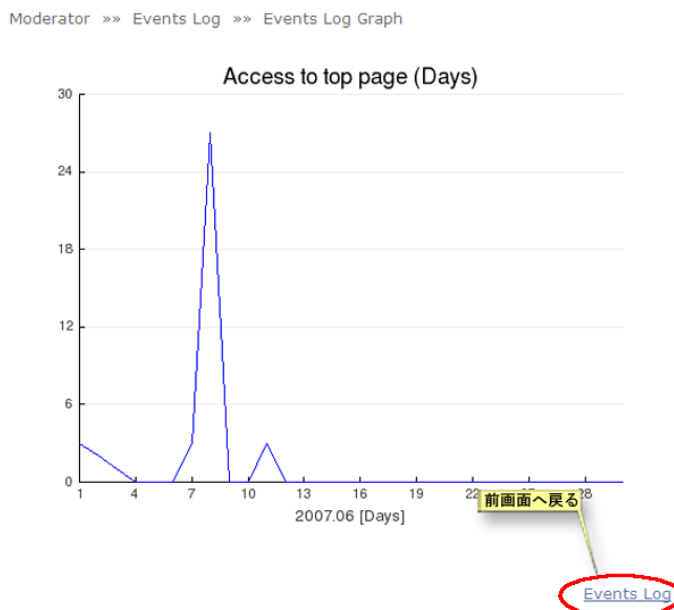


図 5.79. イベントログのグラフ表示

- 登録状況確認

ユーザー及びアイテム一覧を見ることが出来ます。

5.4.7. モデレーター権限の移譲

システム管理者がモデレーター権限をユーザーに付与出来るので、システム管理者に連絡を取ってください。

5.5. システム管理者

システム管理者時として出来ることの説明です。

5.5.1. サイトポリシーの変更

XOOOPS の Control Panel Home から設定変更を行います。

運用前のシステム設定・サイトポリシー設定・日常メンテナンスの項目を参照してください。

5.5.2. ユーザー切り替え機能

XooNIps では登録したアイテムは登録したユーザーのみがアイテムの変更・修正が可能です。

システム管理者は他ユーザー権限での実行が出来ますので、他ユーザーの登録したアイテムであっても変更・修正が可能となります。

XooNIps ユーザーメニューのアカウント切り替えのリンクをクリックします。

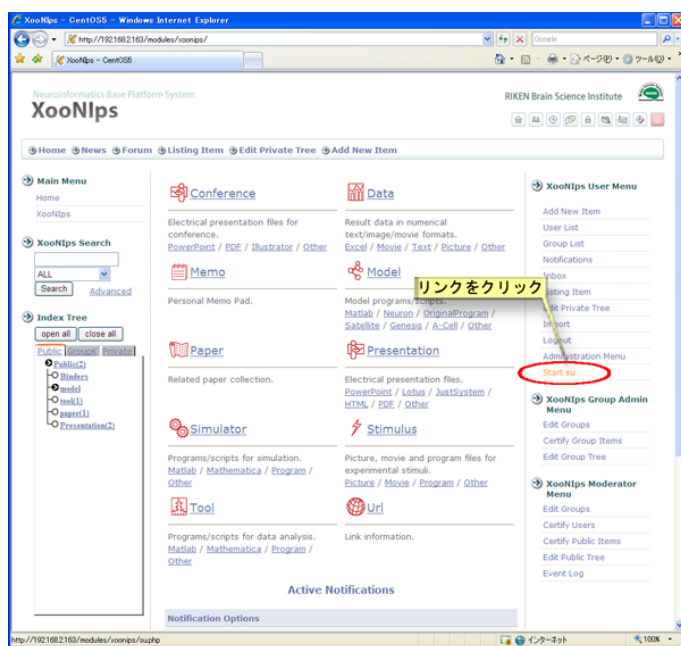


図 5.80. ユーザ切り替え機能

ドロップダウンリストからユーザーを選択してシステム管理者のパスワードを入力します。



図 5.81. ユーザ切り替え機能 2

ユーザーとしての作業を終了したら、XooNips ユーザメニューのアカウント切り替え(ユーザー名)の終了のリンクをクリックします。

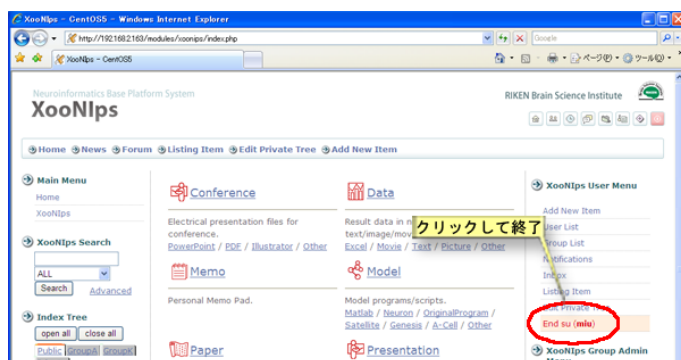


図 5.82. ユーザ切り替え機能 3

5.5.3. エクスポート

他の XooNips サイトへアイテムや IndexTree 構造を利用出来るようにする為のファイル書き出し機能です。

ティップ

サイトポリシー設定の Import/Export の項目で enabled の項目が Yes に設定されている場合は登録ユーザーでもインポート・エクスポートが可能になります。

エクスポートされる内容

- アイテム

同一の Index keyword に登録されている複数のアイテムを同時にエクスポートすることも出来ます。

ティップ

添付ファイルをエクスポートするかどうかはサイトポリシー設定の Import/Export での設定で決定されます。

- Index Tree keyword

Index の構造をエクスポート出来ます。

エクスポートの手順

1. Index Tree keyword のエクスポート方法

ティップ

アイテムが登録されていない空の Index Keyword はエクスポート出来ません。

Index Keyword をクリックしてアイテム一覧画面を表示します。

エクスポートしたい Keyword をクリックして、Export ボタンを押します。

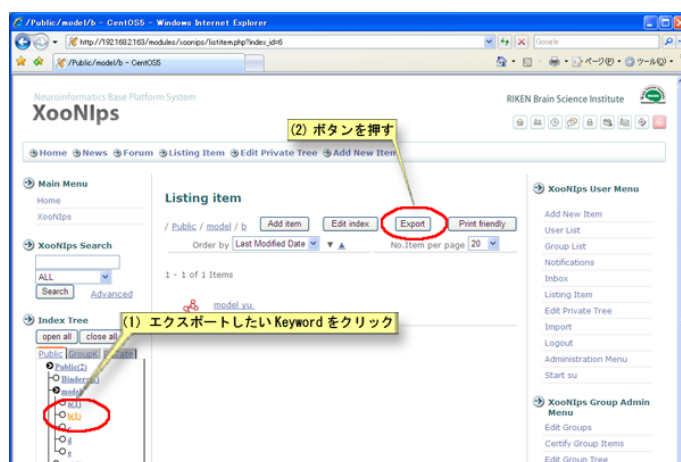


図 5.83. Index のエクスポート

インデックスツリーをエクスポートするにチェックを入れます。再帰的にエクスポートする場合にはインデックスを再帰的にエクスポートするの項目をはいに設定してください。

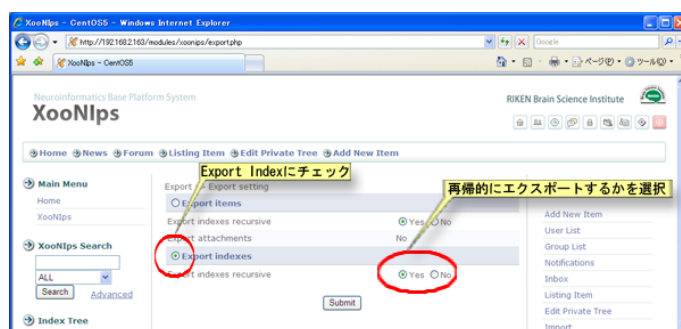


図 5.84. Index のエクスポート 2

エクスポートされる情報が表示されますので、確認した上でダウンロードボタンを押すとエクスポートファイルがダウンロードされます。

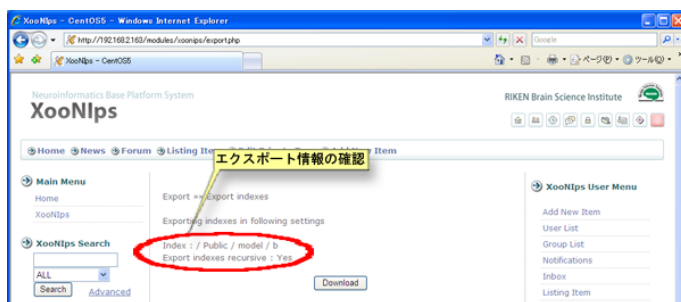


図 5.85. Index のエクスポート 3

2. アイテムのエクスポート

検索などを利用してエクスポートしたいアイテムの詳細画面を表示して、エクスポートボタンを押します。

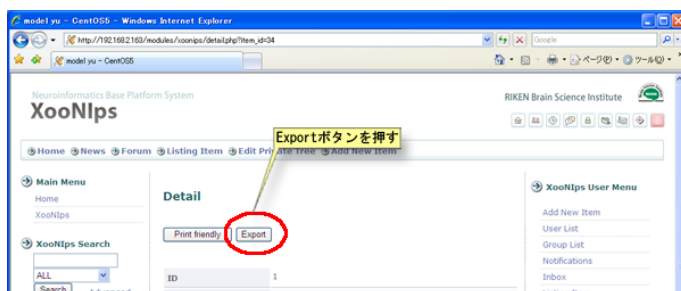


図 5.86. アイテムのエクスポート

添付ファイルを同時にエクスポートするかどうかの設定をします。

ティップ

サイトポリシー設定のインポート/エクスポート設定で添付ファイルのエクスポートの項目がいない場合にはここで選択項目は現れません。



図 5.87. アイテムのエクスポート 2

アイテムダウンロードのライセンス条項に同意して、合意するにチェックを付けダウンロードボタンを押すとエクスポートファイルがダウンロードされます。



図 5.88. アイテムのエクスポート 3

5.5.4. インポート

他の XooNips サイトでエクスポートしたアイテムや、Index Keyword のファイルを読み込んで利用することが出来ます。

XooNips ユーザメニューのインポートをクリックします。

表 5.1. インポート機能

項目名	機能
Import するファイル	インポートするファイルを選択します。
公開インデックスに登録するアイテムを自動承認する	アイテムのインポート先が Public 領域だった場合にアイテムの公開承認を自動的に行います。
エラーチェックだけを行う	エラーチェックのみで実際のインポート処理は行いません。
ログを出力する	インポート処理のログを表示します。(デフォルトでチェックが入っています。)

インポート先の Index Keyword にチェックを入れて、インポートファイルを選択したら次へボタンを押します。



図 5.89. インポート

ログを出力するにチェックをした場合、インポートエラーがあった場合には内容が表示されるので戻るボタンを押して前の画面に戻り修正します。



図 5.90. インポートエラーログ

エラーが無い場合は確認画面が表示されますので、インポートボタンを押してインポートを実行します。

衝突の解決

インポートファイルに重複する Keyword やアイテムがある場合に上書きするかどうかの確認を行います。

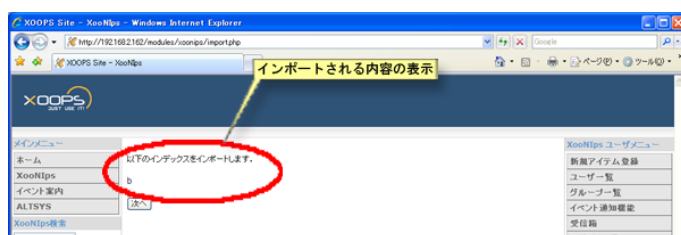


図 5.91. 衝突の解決

5.5.5. メタデータハーベスト

メタデータのハーベストは手動で行う必要があります。

メンテナンス OAI-PMH 設定の項目を参照してください。

5.5.6. モデレーターの変更

モデレーターの変更は管理メニューのメンテナンス ユーザ管理 の項目で所属グループにユーザーをモデレーターグループに追加することで変更出来ます。

正確には、システム設定の基本設定モデレータグループで設定した XooNIps のモデレーターとなっている XOOFS グループを選択して追加します。

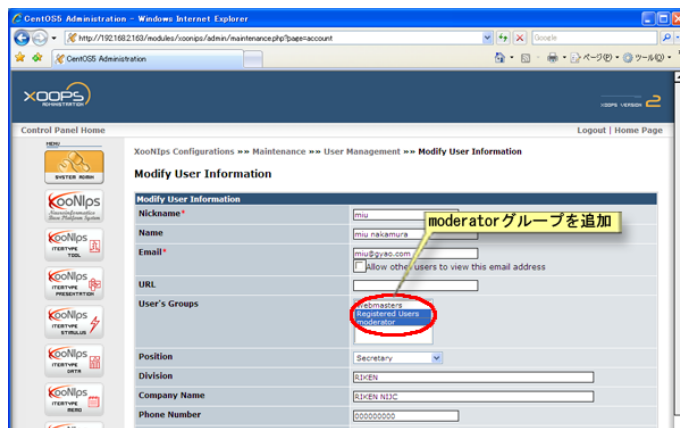


図 5.92. モデレータの変更

第 6 章 著作権表示

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

You may not change or alter any portion of this comment or credits of supporting developers from this source code or any supporting source code which is considered copyrighted (c) material of the original comment or credit authors.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA